平成27年度

事　業　報　告　書

丸亀市社会福祉協議会

公式キャラクター「オルデ」

社会福祉法人　丸亀市社会福祉協議会

目　　次

総括 …… 1

1．地域づくりの推進 …… 2

重点項目 重点項目 (1) 地域づくり推進事業 …… 2
①地域福祉活動計画の策定
②共助の基盤づくり事業の実施
③ふれあい相談センター事業（無料専門相談事業）
④地区コミュニティとの連携による住民参加活動
⑤社会福祉大会の開催

(2) ボランティア活動推進事業 …… 17
①広報・啓発活動
②ボランティアセンター事業
③ボランティア保険の加入促進
④住民へのボランティア活動の促進

(3) 地域サポート事業 …… 21
①車いす貸出事業
②イベント機材貸出事業
新規事業 ③福祉車両貸出事業
新規事業 ④育児用品貸出事業の備品整備

重点項目 重点項目 重点項目 (4) 生活困窮者自立支援事業（丸亀市自立支援センターあすたねっと） … 24
①自立相談支援事業
②家計相談支援事業
新規事業 ③香川おもいやりネットワーク事業（おもいやりネット丸亀）
④助け合い金庫運営事業
⑤生活福祉資金貸付事業

重点項目 重点項目 重点項目 (5) 成年後見推進事業（後見センターまるがめ） …… 34
①法人後見推進事業
②市民後見推進事業
③福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

(6) ファミリー・サポート・センター事業 …… 40
①年度別会員登録者数
②活動実績
③講習会の開催
④会員交流会の開催
⑤イベント等への参加

2．共同募金助成事業 …… 44

(1) 広報・啓発活動事業 …… 44
①社協だより「かけはし」の発行
②ホームページ・事務局通信等による情報提供

(2) 災害時備品整備事業 …… 46

(3) 移動販売支援事業（買物支援事業） …… 46

(4) 特殊詐欺被害防止事業 …… 47

(5) 災害整備事業 …… 47

(6) 子ども防災体験プログラム事業 …… 47

(7) 生活困窮者世帯等に対する支援事業 …… 48

3．社会福祉関係団体との連携・支援 …… 49
（1）共同募金・歳末たすけあい運動の実施 …… 49
①会議の開催と参加
②募金実績額
（2）共同募金運動助成事業並びに歳末見舞金給付事業 …… 49
①地域福祉推進事業（社会福祉協議会助成）
②小地域福祉活動事業（17地区コミュニティ助成）
③地域福祉活動支援事業（福祉団体・ボランティア団体等への助成）
④広域助成等
⑤歳末たすけあい募金
新規事業 ⑥テーマ募金活動
（3）民生委員児童委員活動への協力 …… 52
（4）福祉ママ会議活動への協力 …… 52
（5）身体障がい者活動への協力及び障がい者団体の活動支援 …… 53
（6）社会福祉関係団体等との連携強化 …… 53
①中学生徒弁論大会への協力

重点項目 4．しおや保育所の安定経営 …… 54
（1）通常保育 …… 54
①在籍児童数の状況
②土曜終日保育の状況
（2）特別保育 …… 55
①一時預かり事業
②延長保育促進事業
③障がい児保育事業
（3）地域活動事業 …… 56
（4）研修会の実施・参加による職員の資質向上・人材育成 …… 57
（5）二者懇談会の開催 …… 58
（6）福祉サービス苦情解決事業 …… 59

重点項目 5．介護サービス事業の安定経営 …… 60
重点項目 （1）介護保険制度改革に向けての第三次中期３ケ年計画策定 …… 60
①指定訪問介護・介護予防訪問介護事業（ホームヘルパー）
②指定通所介護・介護予防通所介護事業（デイサービス）
③指定訪問入浴介護･介護予防訪問入浴介護事業（入浴車による家庭入浴）
④指定居宅介護支援事業（ケアマネジャー）
⑤介護予防支援事業（介護予防ケアマネジャー）
（2）ホームヘルプサービス事業 …… 63
①老人ホームヘルプサービス事業
②子育てホームヘルプサービス事業
③介護保険外訪問介護サービス事業
（3）障害福祉サービス事業 …… 64
①居宅介護事業（障がい者ホームヘルパー）
②重度訪問介護事業（障がい者ホームヘルパー）
③同行援護事業（視覚障がい者ガイドヘルパー）
④移動支援事業（ガイドヘルパー）
重点項目 （4）研修会の実施・参加 …… 65
（5）福祉サービス苦情解決事業 …… 65

6．指定管理施設（丸亀市保健福祉センター事業）の運営 …… 66
（1）丸亀市保健福祉センター事業 …… 66
①丸亀市保健福祉センター（ひまわりセンター）利用状況
②丸亀市綾歌保健福祉センター利用状況
③丸亀市飯山総合保健福祉センター利用状況

7．収益事業による財源確保 …… 69
（1）自動販売機による財源確保 …… 69

重点項目 **8．経営体制の強化** …… 70
重点項目 （1）活性化した組織づくり …… 70
①適正な業務執行体制の確立
②苦情解決システムの強化
③テーマ別チームプロジェクトの推進
④地区担当制の活動強化と
コミュニティソーシャルワーク（CSW）研修等の実施
⑤地域福祉実践研究セミナーの開催
（2）職場の環境づくりと人材育成 …… 73
①働きやすくやりがいを感じられる職場づくり
②人材育成
（3）財政基盤の立て直しと健全な法人経営 …… 81
①寄付金収入状況
②会費収入状況
③共同募金助成金状況（地域福祉推進費）
④積立資産と繰越金の状況
重点項目 （4）社協らしい広報戦略の展開 …… 84
①伝わる広報誌づくり
②社協キャラクター「オルデ」の有効活用

平成２７年度事業報告

総　括

生活困窮者自立支援法施行や子ども・子育て支援新制度などによる、法律面での整備は進みましたが、経済格差や教育格差などによる格差社会はますます進行し、生活保護受給者数は増加傾向が続いており歯止めがかからない状況です。また、格差が世代を超えて固定化する「貧困の連鎖」や保育所待機児童の問題も大きな社会現象となっています。

こうしたなか、本会では「人と人とが支え合い、安心して暮らせる福祉のまちづくり」を推進するため、コミュニティをはじめとした地域住民、民生委員児童委員・社会福祉法人などの福祉関係者、行政、関係機関等との協働により、事業を推進しました。

地域づくりの推進では、丸亀市と協働し、「丸亀市第２次地域福祉計画・地域福祉活動計画（みんなのふくし丸亀プラン）」を策定しました。住民座談会においていただいたご意見を集約し、課題に対する住民・行政・社協など、それぞれの役割を位置付けた、分かりやすい計画づくりに努めました。

生活困窮者自立支援事業では、相談窓口として浸透してきたことから相談対応件数が増加しました。困窮状態から早期に脱却するため、モデル事業の実践を活かした包括的・継続的な寄り添い型の支援を行いました。

成年後見推進事業の実施では、本会が法人として身上監護や金銭管理などの後見業務を行いました。８月には丸亀市で初となる市民後見人が２名誕生し、成年後見制度の啓発に取り組みました。

しおや保育所の安定経営では、４月に「子ども・子育て支援新制度」が施行され、子育て家庭の負担軽減などが行われました。また、地域に開かれた社会資源として愛されるしおや保育所づくりを目指し、保育体験学習や世代間交流を積極的に実施しました。

介護サービス事業の安定経営では、訪問入浴車両など４台の車両整備を行いました。また、介護保険事業の要となるケアマネジャーを強化し、利用者の生活を中心とした地域資源を活かしたプラン作成に取り組みました。

１．地域づくりの推進

重点項目（１）地域づくり推進事業

重点項目 ①地域福祉活動計画の策定

地域福祉を推進するためには、その方向性を示すための行政計画である地域福祉計画と社会福祉協議会が住民へ呼びかけ、取り組むべき事業を具体化した地域福祉活動計画が車の両輪となり、地域住民やボランティア、関係団体など、地域に関わる全ての人たちが協働して、計画的に地域福祉を進めていくことが必要です。そのため、丸亀市と協働し、「丸亀市第２次地域福祉計画・地域福祉活動計画（みんなのふくし丸亀プラン）」の策定に取り組みました。

本年度は、前年度に実施した“福祉ぶっちゃけ座談会（住民座談会）”での「地域における生活課題について」のご意見をもとに、第２回目として「課題に対して住民が出来ること」をテーマに、具体的な取り組み等について住民の地域福祉に関する考えや意見を伺いました。また、関係団体のヒアリングでは、４団体７８名との意見交換を行いました。

（ア）住民座談会開催状況

住民座談会は、コミュニティ役員・自治会長・民生委員児童委員・福祉ママ・福祉協力員等の参加のもと、１７地区コミュニティセンターごとに開催しました。５～８人の少人数に分かれたグループごとに職員を配置し、ＫＪ法（付箋紙にそれぞれが意見を書き、これを基に話し合う手法）により、参加者全員が意見を出しやすい方法で取り組みました。

（単位：名）

地　区	参加者数	地　区	参加者数	地　区	参加者数
城　北	22	飯　野	35	栗　熊	17
城　西	30	川　西	18	富　熊	17
城　乾	25	郡　家	34	岡　田	30
城　坤	25	垂　水	23	飯山南	25
城　南	16	本　島	※23	飯山北	13
土　器	13	広　島	14	合　計	380

※本島地区は、平成27年5月18日（15名参加）、7月28日（8名参加）に開催。

城乾地区

飯山北地区

（イ）関係団体ヒアリングの状況　　（単位：名）

年 月 日	団体名	参加数
27．4.28	丸亀市身体障害者福祉連合協会	11
6.23	しおや保育所　保護者・職員	47
8.26	特別養護老人ホーム　紅山荘	7
9.10	救護施設　萬象園	13

（ウ）「地域の課題に対して、住民は何ができるのか」の主なご意見等

テーマ	地域の課題	自分たちにできること
高齢者に関すること	●買物に行く手段がない高齢者がいる。 ●一人暮らしの高齢者や老々介護への支援。 ●高齢者の活躍できる場所や居場所が少ない。 ●急病時等の緊急対応。	●近所の人に声かけをして、車に乗せてあげる。 ●買物代行をする。 ●近所で、おすそわけをする。 ●定期的に個別訪問を行う。 ●認知症の方には、近所とのふれあいが重要。もう少し、ふれあえる機会を持つようにする。 ●民生委員・福祉ママ・自治会が横のつながりをもつ。 ●いきいきサロン、老人会を充実する。 ●コミュニティへの参加をすすめる。 ●高齢者同士の交流の場をつくる。 ●災害時に誰に言いに行くかを決めておく。
子ども・子育てに関すること	●子どもが安心して遊べる場所が少ない。 ●世代間のふれあいが少ない。 ●地域の子どもの見守りについて。	●遊休地を利用して遊び場にする。 ●高齢者の居場所と子どもの遊び場が競合する場合、高齢者は子ども達が学校にいる間は使い、放課後は子ども達に開放するなどを検討する。 ●施設と幼・保・小、地域の交流会を企画する。 ●空き家を交流の場に活用する。 ●三世代ふれあい会を実施する。（スポーツ大会） ●ボランティア（無償）で勉強を教えてもらう大学生等を確保する。 ●地域の行事を通じて、子どもと仲良くする。「知っているおっちゃん、おばちゃん」になる。 ●高齢者のサロンを子どもの遊び場に利用する。 ●地域の大人の目を増やして犯罪が起こりにくい環境をつくる。 ●近所にどんな子（親）がいるかを知る。 ●子どもが帰って来るような環境づくりをする。

障がい者に関すること	●障がい者の情報がない。接し方がわからない。 ●障がい者の情報が入ってこない、障がいを抱えた人がどこに住んでいるのかわからない。 ●バリアフリー問題。	●地域のイベントに障がい者の参加を増やす。 ●地域の人が施設でボランティアをする。 ●障がいに対する理解と認識を深める勉強会をいきいき講座の中で行う。 ●障がい者のいきいきサロンをつくる。 ●会話をする人の範囲を広げ、「助けてほしい」と思う人の声をひろう。 ●障がい者が助けを求めやすい環境づくり関係づくりをする。近所づきあいで情報を得る。 ●障がい者の立場に立って考える。 ●杖や車いすの人に道を空けたり、ドアをあけてあげる。車いす専用駐車スペースに車を置かない。
防災・地域に関すること	●地域のつき合いが少なくなり、他の人の事情がわかりにくくなってきている。 ●マンション入居者は、自治会に入らない。 ●高齢化による自治会の消滅。 ●ひとり暮らしが増加。 ●空き家が増加している。 ●島の活性化。 ●避難者支援をする者がいない。 ●防災訓練の周知ができていない。	●みんなで話せる場づくり、雑談ができる場づくりをする。 ●老人会・子ども会などコミュニティ活動とのつながりをもつ。 ●マンション入居前に、入居者へ自治会説明の機会を持つ。 ●自治会加入のメリットを考え、ＰＲする。 ●ひとり暮らしの高齢者で介護等の支援の受け方が知らない方がいるため、介護サービスなどの情報を提供する。 ●空き家を借り上げて憩いの場とする。 ●島外の人に来てもらえるよう情報発信する。 ●避難経路をみんなで考える。 ●継続して防災訓練を行い、定着化させる。

②共助の基盤づくり事業の実施

（ア）たすけあいサービス事業

同じ地域に住む住民が、生活上のちょっとした困りごとを支援し、互いに支え合い協力し合って、いつまでも安心して地域で暮らせるための助け合いの仕組みづくりを推進しました。現在、飯山南コミュニティ協議会（平成２５年１２月～）並びに飯山北地区コミュニティ推進協議会（平成２６年４月～）が事業を実施していますが、今後は、事業実施地区の拡大とともに事業内容の充実が課題となっています。

会員登録状況　（単位：名）

項　　目	飯山南	飯山北
利用会員	22	2
協力会員	8	4
合　　計	30	6

活動実績状況　（単位：件）

項　　目	飯山南	飯山北
庭・室内の清掃	10	4
買い物等代行	20	
合　　計	30	4

（イ）高齢者外出支援事業

飯山地区において、閉じこもりがちな高齢者に対し、自宅から飯山総合保健福祉センター内の入浴施設までマイクロバスで送迎する外出支援事業を実施しました。

（ウ）小地域ネットワーク活動事業
＜職員の地区担当制によるコミュニティソーシャルワーク（ＣＳＷ）の推進強化＞

民生委員児童委員を中心に、福祉ママ・福祉協力員が各地区において開催する情報交換会（小地域ネットワーク会議）に地区担当職員が参加し、地域課題の把握（収集）に努めました。本年度は、５地区延べ８回の会議に参加し、福祉情報の提供を行うとともに、地域が抱える福祉ニーズや福祉課題について意見交換を行いました。　（単位：回）

地　区	回　数	地　区	回　数	地　区	回　数
城　北	2	城　坤	1	岡　田	1
城　乾	3	飯　野	1	合　計	8

（エ）一人暮らし高齢者友愛訪問活動

①一人暮らし高齢者友愛訪問花鉢プレゼント事業

民生委員児童委員の協力のもと、丸亀市内在住の一人暮らし高齢者（７０歳以上）の誕生月に訪問活動を行いました。季節の花のプレゼントを手渡し、声掛けを行うことで、顔の見える関係づくりや安否確認に努めました。

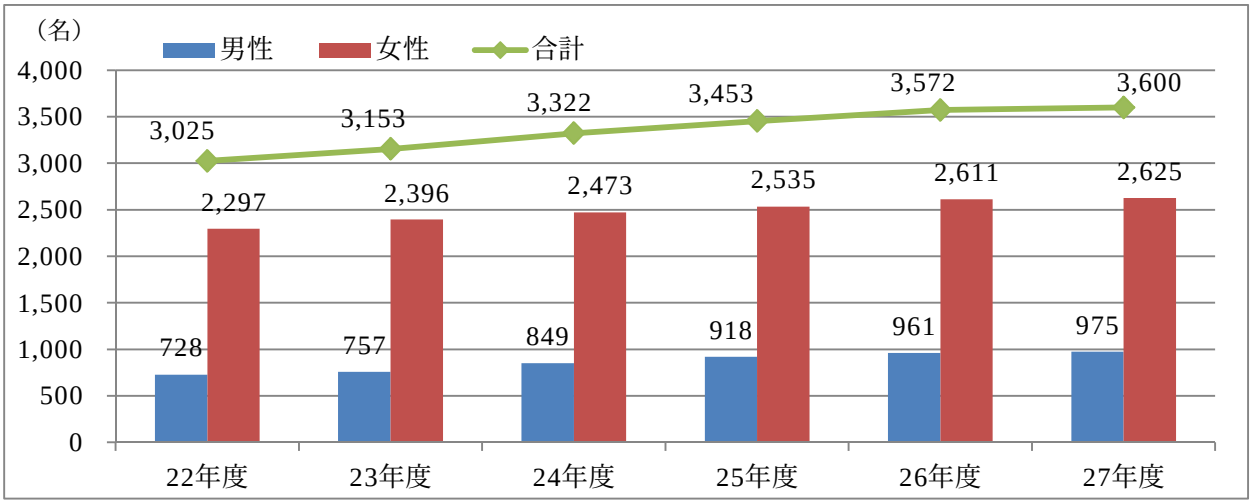
【対象者数2,777名】　（単位：名）

月	花　名	対象者数	月	花　名	対象者数
４月	ﾍﾟﾘﾑﾗ・ﾊﾟﾝｼﾞｰ	195	10月	ﾏﾘｰｺﾞｰﾙﾄﾞ・ｻﾙﾋﾞｱ	232
５月	ﾏﾘｰｺﾞｰﾙﾄﾞ・ﾍﾞｺﾞﾆｱ	169	11月	ﾊﾟﾝｼﾞｰ・ﾉｰｽﾎﾟｰﾙ	241
６月	ｲﾝﾊﾟﾁｪﾝｽ・ﾏﾘｰｺﾞｰﾙﾄﾞ	139	12月	ﾊﾟﾝｼﾞｰ・ﾃﾞｲｼﾞｰ	169
７月	日日草・ｲﾝﾊﾟﾁｪﾝｽ・ｺﾘｳｽ	210	１月	ﾊﾟﾝｼﾞｰ・ﾑﾙﾁｺｰﾚ	352
８月	日日草・ｺﾘｳｽ	213	２月	ﾊﾟﾝｼﾞｰ・ﾋﾞｵﾗ・ﾑﾙﾁｺｰﾚ	294
９月	ﾍﾞｺﾞﾆｱ・ﾅﾃﾞｼｺ・ｺﾘｳｽ	233	３月	ﾋﾞｵﾗ・ｲｿﾄﾏ	330

②一人暮らし高齢者実態調査（65歳以上）　1回調査：平成27年7月

【平成２７年７月調査分】調査員：民生委員児童委員　（単位：名）

地区＼性別	男	女	計	地区＼性別	男	女	計	地区＼性別	男	女	計
城北	135	358	493	郡家	57	179	236	広島	24	52	76
城西	71	241	312	垂水	28	61	89	本島	19	56	75
城乾	80	180	260	川西	43	113	156	綾歌	82	193	275
城坤	131	407	538	飯野	27	56	83	飯山	118	287	405
城南	96	209	305	土器	64	233	297	合計	975	2,625	3,600



（オ）寝たきり高齢者友愛訪問活動

①寝たきり高齢者友愛訪問　2回訪問：平成27年7月・平成28年2月

福祉ママの協力により、在宅で介護を受けている寝たきり高齢者への聞きとり調査・訪問活動を実施しました。女性ならではのあたたかい声掛けやきめ細かな気配りにより、在宅介護者の見守り・支援活動に努めました。

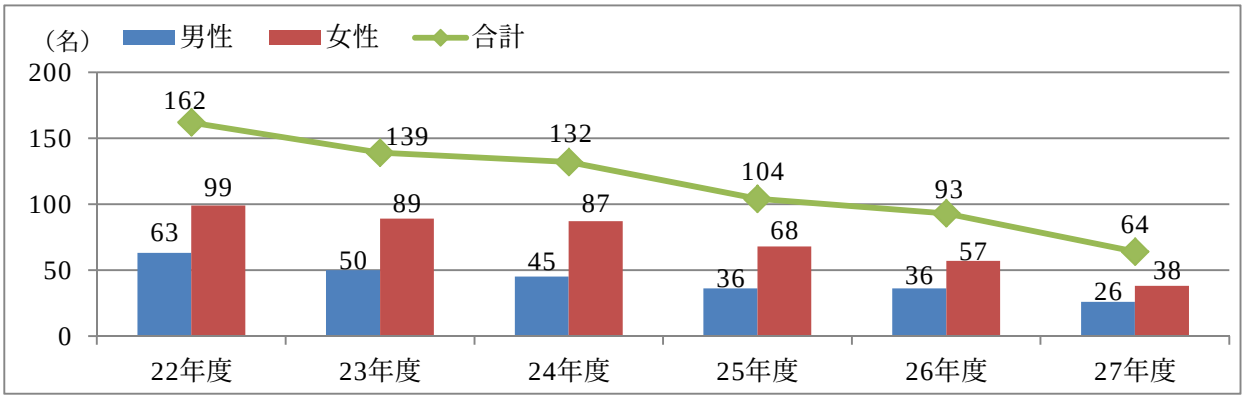
（単位：名）

年　月	内　容	対象者数
27．7	60歳以上在宅寝たきり高齢者友愛訪問（上期）	80
28．2	60歳以上在宅寝たきり高齢者友愛訪問（下期）	64

②寝たきり高齢者実態調査（60歳以上）　2回調査：平成27年6月・平成28年1月

【平成２８年１月調査分】調査員：福祉ママ　（単位：名）

地区＼性別	男	女	計	地区＼性別	男	女	計	地区＼性別	男	女	計
城　北	1	1	2	垂　水				岡　田	3	3	6
城　西	2	1	3	川　西	3	1	4	栗　熊			
城　乾	3	6	9	飯　野	1		1	富　熊		2	2
城　坤	6	8	14	土　器		1	1	飯山南	3	5	8
城　南	1	1	2	広　島				飯山北	1	6	7
郡　家	1	2	3	本　島	1	1	2	合　計	26	38	64



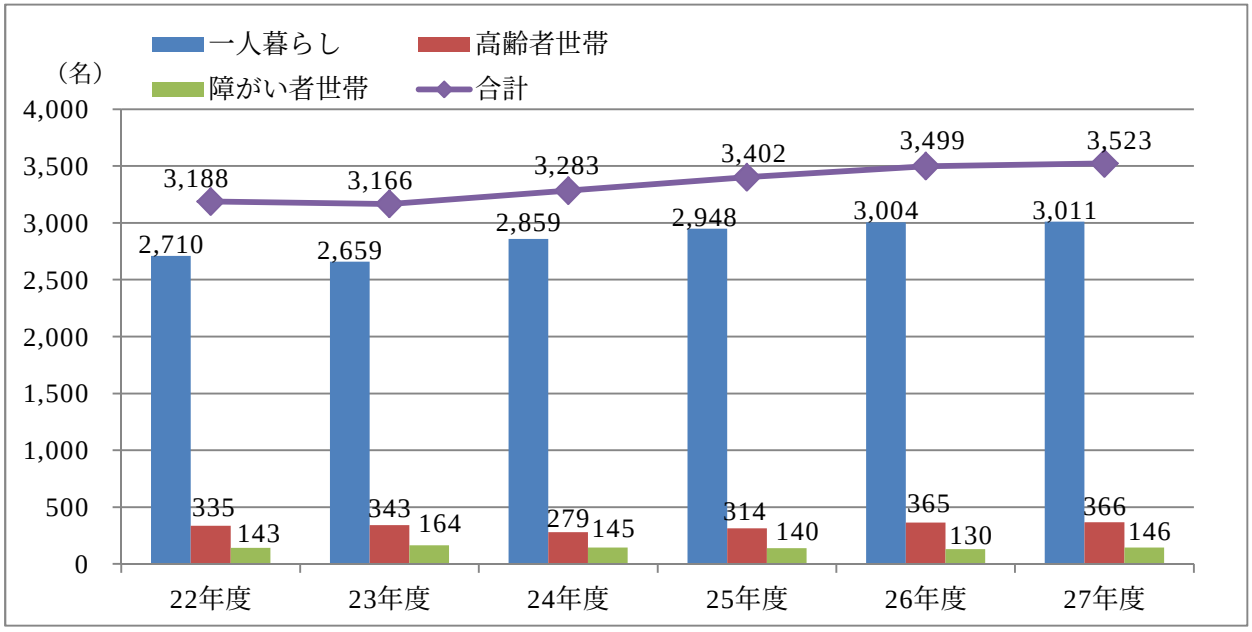
（カ）災害時要援護者福祉マップの作成　1回調査：平成27年7月

地震・台風などの災害時に要援護者の安否確認が迅速に行えるよう、民生委員児童委員との協働で７月に調査を実施し、要援護者の状態把握や支援者の追加更新を行いました。

今後は、南海トラフ地震の発生が危惧されており、行政が進める避難行動要支援者名簿との情報連携や情報の活用方法については検討が必要とされます。

【平成２７年７月調査分】調査員：民生委員児童委員　　（単位：世帯）

地　区	一人暮らし世帯	高齢者世帯	障がい者世帯	合　計
城　北	417	73	20	510
城　西	266	38	10	314
城　乾	217	45	16	278
城　坤	507	15	29	551
城　南	219	14	4	237
郡　家	216	13	21	250
垂　水	78		1	79
川　西	103	6	8	117
飯　野	66	13	2	81
土　器	285	16	7	308
広　島	47	4		51
本　島	60	27		87
綾　歌	209	73	21	303
飯　山	321	29	7	357
合　計	3,011	366	146	3,523



（キ）企業連携型巡回見守り活動

業務で市内を巡回している企業と協定を結び、訪問時に異変を感じた時は、民生委員児童委員や本会に連絡する仕組みを構築し、早期発見・事故防止に努めています。

本年度は、「生活協同組合コープかがわ」と協定を取り交わし、新たな見守り活動の輪を広げることができました。

企業連携型巡回見守り活動調印式（平成27年7月2日）

生活協同組合コープかがわ　理事長　木村　誠　様（中）
丸亀市民生委員児童委員協議会連合会
会長　横井邦彦　様（左）
丸亀市社会福祉協議会　会長　梶　正治　（右）

協定企業7社（協定順）
四国新聞社、読売新聞社、四国電力丸亀営業所
朝日新聞社、香川ヤクルト販売、丸亀給食センター、
生活協同組合コープかがわ

（ク）子育て世代支援事業（おやこカフェ）

子育て中のお母さん・お父さんが子どもと一緒に楽しむ機会づくりとして、親子で楽しめるプログラムを企画し、丸亀市レクリエーション協会･日本レクリエーション協会公認指導者　岩田理香氏のご指導のもと、事業を行いました。本年度も、引き続き主任児童委員と連携し、地域の子育て家庭へ主任児童委員の啓発活動を行いました。

（単位：組／名）

年 月 日	内　　容	参加人数	場　　所
27．6.13	ペットボトルキャップで 簡単リメイク雑貨をつくろう	13／37	ひまわりセンター
8．8	簡単がっつりハンバーガーをつくろう	16／39	ひまわりセンター
10.31	ミニ運動会	29／74	ひまわりセンター
28．2.27	スノーボールをつくろう	20／53	ひまわりセンター

おいしいハンバーガーできるかな

みんなで力を合わせて綱引き

（ケ）一人暮らし高齢者等居場所づくり事業

一人暮らし高齢者世帯等の孤立化・孤独化を防止するため、各保健福祉センターに「ほっとサロン」を開設し、高齢者が気軽に集える場づくりや地域での仲間づくりを行いました。

（単位：名）

場　所	25年度	26年度	27年度
ひまわりセンター（３階囲碁・将棋室）	3,624	3,558	4,381
綾歌保健福祉センター（１階和室）	76	39	37
飯山総合保健福祉センター（２階ロビー）	526	266	212
合　計	4,226	3,863	4,630

（コ）家具転倒防止器具設置支援事業

地震等の災害発生時に家具の転倒による被害軽減のため、８０歳以上の一人暮らし高齢者世帯へ、家具転倒防止器具の無料設置を支援しました。平成２４年度から実施している９地区に加え、新たに川西・郡家・飯山北地区を加えた１２地区で事業を実施しました。

器具の取り付けは、㈱山倉建設の協力で講習会を開催し、地域の民生委員児童委員・自主防災会・住民等が中心となり、本会職員と協働して事業を進めることで、新たな見守り活動の輪を広げることができました。

（単位：世帯）

地区名	対象世帯	設置世帯
川　西	59	4
郡　家	94	9
飯山北	111	11
合　計	264	24

※川西地区は、平成24年度に続き2回目の実施。

設置協力者への講習会

高齢者宅での器具取り付け（郡家地区）

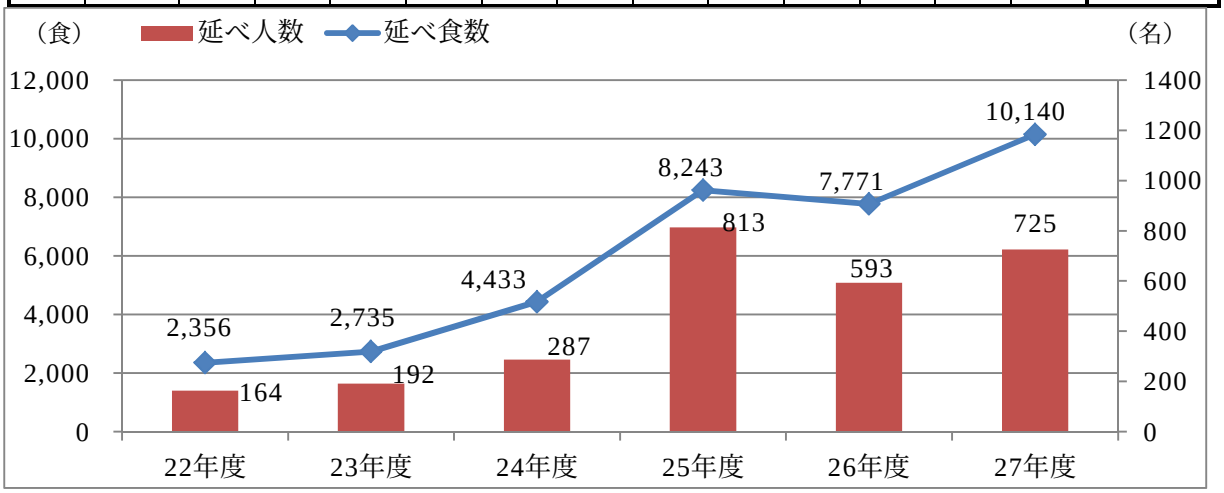
（サ）生活支援配食サービス事業

丸亀給食センターの協力のもと、調理を困難とする高齢者世帯（要件①７０歳以上で要介護１以上の一人暮らし高齢者非課税世帯、要件②７０歳以上で要支援１以上の高齢者のみ非課税世帯）に、週５日間を限度とした昼食配達を行いました。

お弁当を手渡しすることによる安否確認や見守り活動を通じ、いつまでも住み慣れた自宅で暮らせるための生活援助サービスを実施しました。

利用状況と配食数　　（単位：名／食）

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要件1	人数	15	17	16	18	20	20	19	18	20	19	19	21	222
	食数	247	278	252	290	323	318	303	294	310	279	304	364	3,562
要件2	人数	33	34	33	36	36	40	43	41	37	38	42	41	454
	食数	442	436	456	509	524	534	635	589	557	518	571	629	6,400
広島	人数	5	5	5				7	6	6	5	5	5	49
	食数	20	25	10				29	24	16	19	17	18	178
計	人数	53	56	54	54	56	60	69	65	63	62	66	67	725
	食数	709	739	718	799	847	852	967	907	883	816	892	1,011	10,140



安否確認を兼ねたお弁当の配達

栄養バランスのとれたお弁当

（シ）障がい児（者）活動援助事業

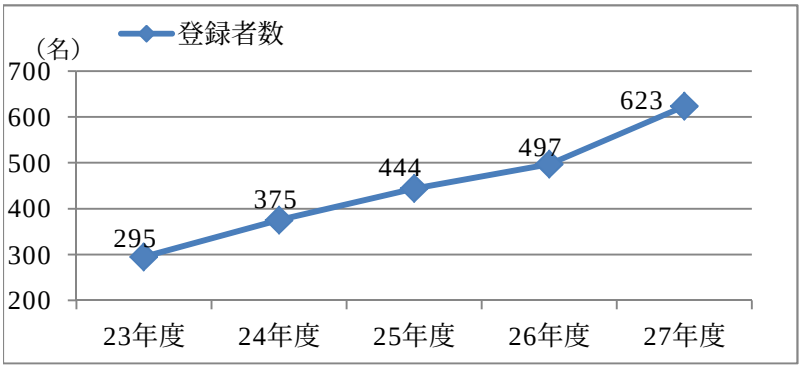
丸亀市身体障害者福祉連合協会の事務局を受託し、障がい者団体との協働を進めるとともに、障がい児（者）を対象とした「ふれあい・いきいきサロン」の立ち上げ支援や丸亀市障害者スポーツ大会の参加協力などにより親睦を深め、障がいへの理解促進に努めました。

（ス）福祉情報メールの配信（情報♡ほっとメール）　（登録者数　623名）

携帯電話等のメール機能を活用し、福祉情報を迅速により多くの方に発信する仕組みを推進しました。丸亀市防犯協会・丸亀市少年育成センター等と連携した消費者被害・不審者情報の発信や、民生委員児童委員・企業・警察と連携した認知症高齢者の捜索情報等の発信により、被害の防止や早期発見に努めました。

（単位:件）

内容＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
消費者被害	1		1										2
不　審　者	1	2	1										4
行方不明等				1	1		1				4		7
合　計	2	2	2	1	1		1				4		13



登録用ＱＲコード

登録用アドレス

a-90034@oknavi.jp

新規事業 **（セ）認知症徘徊者等見守りネットワーク事業**

認知症高齢者の行方不明事件等が社会問題化するなか、善通寺市社会福祉協議会が行う「ＳＯＳネットワーク模擬訓練」に本会職員が参加し、丸亀市における認知症高齢者等の見守りネットワークの構築の参考としました。

また、先進的な取り組みを行っている福岡県大牟田市から池田武俊氏を講師に迎え、大牟田市で毎年行われている「認知症ＳＯＳネットワーク模擬訓練」や「絵本教室」など、認知症の方を地域全体で支えるための様々な活動についてご講演いただきました。

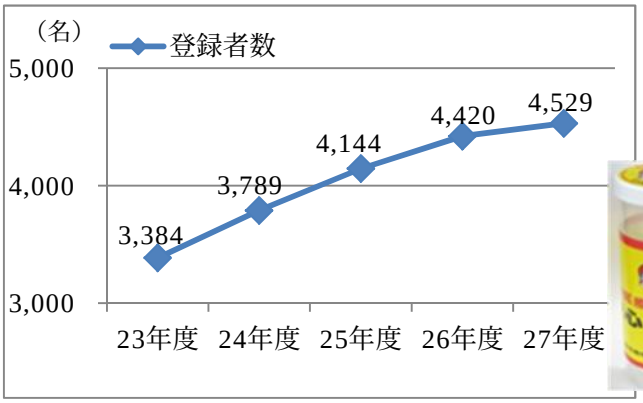
大牟田市の取り組みについて紹介する池田氏

（ソ）救急医療情報キット（安心キット）の設置拡充

急病や災害時に意識を失うなど、もしものときに救急隊員が迅速な活動ができるよう、係りつけ医・服薬等を記入する用紙を入れた、医療情報保管キットの無料配布を行いました。社協だより「かけはし」への掲載や、コミュニティ・民生委員児童委員との協働により、さらなる普及啓発に努めるとともに、既に設置している方には医療情報の更新を呼びかけました。

地区別登録者数　　（単位：名）

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
城　北	648	飯　野	120	栗　熊	116
城　西	306	川　西	343	岡　田	222
城　乾	359	土　器	363	富　熊	144
城　坤	560	垂　水	92	飯山北	333
城　南	353	広　島	154	飯山南	189
郡　家	215	本　島	12	合　計	4,529



（タ）ふれあい・いきいきサロンの充実

高齢者・障がい者等を中心に、身近で気軽に参加できる地域の集会場などでのふれあい・支え合いの場づくりを推進しました。新規サロン開設時には職員が参加して助言を行うなど、年２回の代表者交流・研修会を実施し、サロン運営の進め方や情報交換を行い、住民が主体となって活動しやすい環境づくりに努めました。

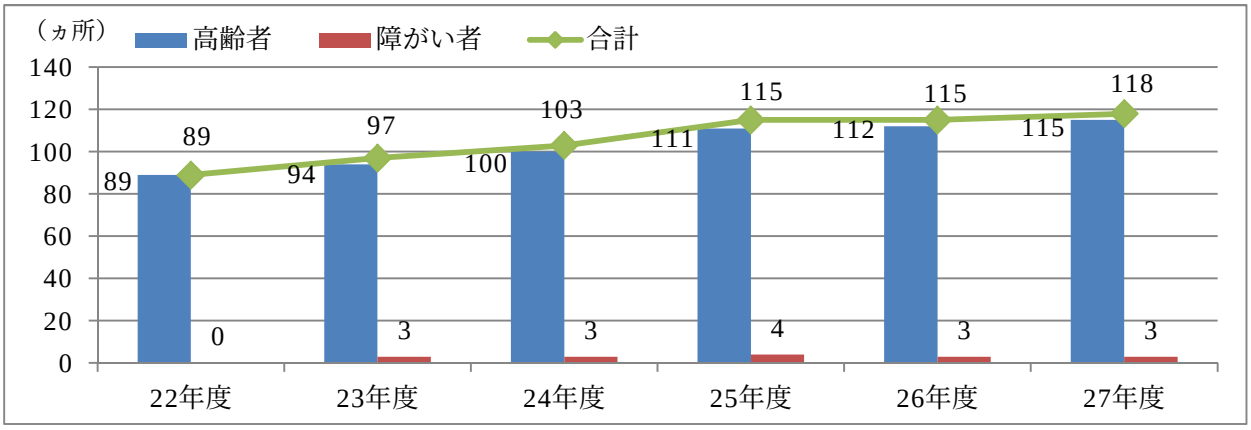
交流・研修会の開催　　（単位：名）

年 月 日	内　　容	参加人数	場　　所
27．4．9	『素敵なシニアライフのために ～懐かしのあの曲でロコモ体操～』 さぬき福祉専門学校教員　河野　量子氏・河江　美恵子氏	138	ひまわりセンター
10．5	『今より、ちょっと身体を動かしてみましょう！』 丸亀市健康福祉部健康課 理学療法士　川原　靖代氏	164	ひまわりセンター

ふれあい・いきいきサロン代表者交流・研修会

地区別実施状況（うち職員訪問件数14ヶ所）　　（単位：ヶ所）

地区	高齢者	障がい者	地区	高齢者	障がい者	地区	高齢者	障がい者
城　北	8		飯　野	10		栗　熊	8	1
城　西	2		川　西	5		富　熊	5	
城　乾	4		郡　家	2		岡　田	9	
城　坤	9	1	垂　水	5		飯山南	15	
城　南	6		本　島	4		飯山北	6	
土　器	12	1	広　島	5		合　計	115	3



川井あったかサロン（飯山町）

山辺いきいきサロン（土器町）

（チ）見守りネット講演会の開催（福祉協力員研修会）

先進地での取り組みを学び、丸亀市の福祉力向上を図るための研修会を開催しました。

滋賀県高島市の取り組みでは、住民主体によるサロン活動事例をご紹介いただき、地域ごとに特色のある福祉活動の重要性や、住民主体ですすめることの意義について講演されました。

福岡県大牟田市の取り組みでは、認知症の人に対する理解を深め、地域全体で支える「しくみづくり」や、認知症になっても住み慣れた地域で、安心して豊かに暮らし続けることができる「まちづくり」活動について講演されました。

（単位：名）

年 月 日	内　　容	参加人数	場　　所
27．9.12	「地域で見守り支え合うまちづくり」 社会福祉法人　高島市社会福祉協議会 地域福祉課　係長　杉本　学士　氏	230 ・ 100	丸亀市生涯学習ｾﾝﾀｰ 綾歌総合文化会館 アイレックス
28．2.20	「まちで、みんなでつつむ認知症 ～大牟田市認知症ケアコミュニティ～」 大牟田市保健福祉部 調整監　池田　武俊　氏	200	丸亀市生涯学習ｾﾝﾀｰ

見守りネット講演会（高島市社会福祉協議会　杉本氏（左）、大牟田市　池田氏（左））

③ふれあい相談センター事業（無料専門相談事業）

地域住民が抱える様々な問題解決のため、弁護士・司法書士・介護支援専門員の無料相談窓口を設け、誰もが気軽に相談できる相談体制の充実に努めました。

ア．専門相談件数

弁 護 士 相 談（開設日数 36 日）　　（単位：件）

開催場所	開催曜日	開催時間	２６年度	２７年度
本　　所	毎月　第２火曜日	午前９時～１２時	68	68
綾歌分室	毎月　第３水曜日	午前９時～１２時	38	44
飯山分室	毎月　第２木曜日	午前９時～１２時	65	58
		合　計	171	170

司法書士相談（開設日数 12日）　　（単位：件）

開催場所	開催曜日	開催時間	２６年度	２７年度
本　　所	毎月　第４火曜日	午前９時～１２時	48	36

介 護 相 談（開設日数 12日）　　（単位：件）

開催場所	開催曜日	開催時間	２６年度	２７年度
本　　所	偶数月　第２水曜日	午前９時～１２時	2	
飯山分室	奇数月　第２水曜日	午前９時～１２時	1	

イ．心配ごと相談

場　所	開催時間	場　所	開催時間	場　所	開催時間
本　　所	随　時	綾歌分室	随　時	飯山分室	随　時

④地区コミュニティとの連携による住民参加活動

（ア）地区社協運営助成状況

小地域での福祉活動を推進するために必要な運営費を助成し、地区コミュニティと協働した地域福祉活動の充実を図りました。　　（単位：円）

内　　容	２５年度	２６年度	２７年度
地域福祉推進事業助成金	1,387,870	1,374,065	1,362,185
共同募金配分金助成金	2,628,000	2,592,000	3,023,000
福祉部会活動事業助成金	850,000	850,000	883,000
合　　計	4,865,870	4,816,065	5,268,185

（イ）コミュニティ会長・連合自治会長　県外研修会

本年度もコミュニティ会長・連合自治会長県外研修会を企画し、視察研修を行いました。

鳥取県南部町では、住民が中心となり空き家を活用した高齢者の居場所づくりの取り組みについて、立ち上げの経緯や現在の課題を学び、米子市では、ＮＰＯ法人と行政、地域住民等が連携した中心市街地活性の取り組みや今後の計画などについての意見交換を行いました。

今後の丸亀市における地域づくり・まちづくりのあり方を検討するための有意義な研修となりました。

NPO法人地域福祉ネット（鳥取県米子市）

年月日	内　　容	参加人数	場　　所
28．3.16 ～17	「空き家を活用した、地域の居場所づくり」 鳥取県 南部町・東西町地域振興協議会 米子市・ＮＰＯ法人地域福祉ネット	11	鳥取県南部町・米子市

（ウ）地域自主防災組織・民生委員児童委員とのネットワーク強化

地域の防災訓練に積極的に参加し、自主防災会・消防団・地域住民の方々に、コミュニティに設置した災害対策用造水機の取扱いや避難時要支援者への介助法などについて説明しました。

また、民生委員児童委員が把握している災害時要援護者への支援体制の構築や、第１回コミュニティ協議会連合会防災訓練に参加し、コミュニティ・地域住民・行政等との災害時連携体制の強化に努めました。

地域の防災訓練に参加（飯山町）

コミュニティ協議会連合会防災訓練

⑤社会福祉大会の開催

１０月２３日（金）丸亀市民会館において、社会福祉大会を開催しました。表彰式では、多年にわたり社会福祉の発展に貢献された方々の顕彰を行い、記念講演では、「暮らしをつくる福祉実践へ～生きること、それが私たちの仕事～」と題し、沖縄大学名誉教授　野本三吉氏からご講演いただきました。

（単位:名／団体）

表　彰・感　謝	人　数	団体数
丸亀市社会福祉協議会会長　表彰	44	4
丸亀市社会福祉協議会会長　感謝	4	8
丸亀市共同募金委員会会長　表彰	7	
丸亀市共同募金委員会会長　感謝		2

表彰式

沖縄大学名誉教授　野本三吉氏による記念講演

（２）ボランティア活動推進事業

①広報・啓発活動

社協だより「かけはし」や社協ホームページによる様々なボランティア講座等の参加呼びかけや小学生を対象としたボランティア学習を行いました。ボランティア学習では、ボランティア活動団体の協力により、活動で気をつけている点や活動の喜びなどを分かりやすく話していただきました。また、本会職員が市内小学校を訪問し、車いすの使い方や目の不自由な方の移動介助の指導など、ボランティア活動の普及啓発に努めました。

ボランティア学習（声の図書録音奉仕会やまもも（左）、丸亀手話サークル亀の子会（右））

車いすの使い方指導（城南小学校（左）、城辰小学校（右））

②ボランティアセンター事業

市内で活動しているＮＰＯ法人・ボランティア団体の活動推進と住民への理解促進のため、「お城まつり愛の広場」や「ふくしフェスティバル」への参加協力、丸亀市が開設したホームページ「まるがめっと」を活用したボランティア団体との連携強化に努めました。

（ア）相談状況　(単位:件)

区　　分	項目	件数
ボランティア相談	個人	13
	団体	3

（イ）個人ボランティア登録状況　(単位:名)

区　　分	項目	人数	合計
ボランティア登録	男		15
	女	15	

③ボランティア保険の加入促進

本会が窓口となり、ボランティア活動中の事故に対応するため、ボランティア保険の加入促進を実施しました。

ボランティア保険への関心は高まっており、なかでも災害ボランティア保険の加入者は、増加しています。

ボランティア保険加入状況　(単位:名／団体)

区　　分	人　　数		団体数	
	２６年度	２７年度	２６年度	２７年度
1. 活動保険（①）	1,203(19)	1,228(3)	42	42
団体（内、災害ボランティア）	1,150(3)	1,224(2)	42	42
個人（内、災害ボランティア）	53(16)	4(1)		
2. 行事保険（②）	1,917	2,787	10	12
合　計（①＋②）	3,120(19)	4,015(3)	52	54

④住民へのボランティア活動の促進

（ア）こどもふくしセミナーの開催

川西地区自主防災会並びに丸亀市食生活改善推進協議会の協力により、市内小学生の親子を対象とした防災セミナーを開催しました。

子どもたちでもできる災害時支援活動を体験することで、一人ひとりがお互いを思いやり、助け合うことの大切さについて学ぶ機会となりました。

（単位：組／名）

年 月 日	内　　容	参加人数	場　　所
27．8．1	【こどもふくしセミナー】 ①ケガをしてしまった人を助けよう！ ・心肺蘇生訓練～ＡＥＤの正しい使い方～ ・移動介助～かんたんに担架を作る方法～ ②初期消火に挑戦してみよう！ ・消火器の使い方～水消火器で実践～ ③集団生活を体験しよう！ ・飯ごう炊さん～みんなのカレーライス作り～	26／74	畦田ｷｬﾝﾌﾟ場

心肺蘇生訓練

水消火器で消火訓練

（イ）ふれあいワークキャンプの開催

病院・障がい者施設等の協力により、市内中学生・高校生を対象とした体験学習（ワークキャンプ）を開催しました。参加した生徒からは、「障がい者への考えや意識が変わった」、「人の役に立つようなことをしたい」など、夏休み期間中の体験学習を通じて、ボランティア活動への理解促進と人を労わるやさしい心を育てる機会づくりを行いました。

（単位：名）

年 月 日	内　　容	参加人数	協　力　施　設
27．8．3～ 7	保育体験にチャレンジ	29	しおや保育所
27．8．7	障がい者施設で夏祭りを盛り上げよう	8	うぶすな園
8.12・19・26	病院で受付にチャレンジ	27	香川労災病院
8.29	障がい者施設で夏祭りを盛り上げよう	4	丸亀さんさん荘

病院の受付補助（労災病院）

保育ボランティア（しおや保育所）

（ウ）ふくしフェスティバルの開催

各種イベントを通じて社会福祉活動への理解を深め、住民同士が互いに支え合い、「安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めることを目的として、第６回ふくしフェスティバル実施しました。

障がい児（者）や高齢者等、様々な分野で福祉活動に取り組んでいる団体が参加し、それぞれの活動内容の啓発を行いました。

また、会場では募金協力を呼びかけ、たくさんのあたたかい思いやりが寄せられました。

（単位:名）

年 月 日	内　　容	参加人数	場　　所
27．9.23	第６回ふくしフェスティバルまるがめ	２,８００	綾歌総合文化会館 アイレックス

ステージコーナー

バザーコーナー

体験コーナー

イザカエルキャラバン

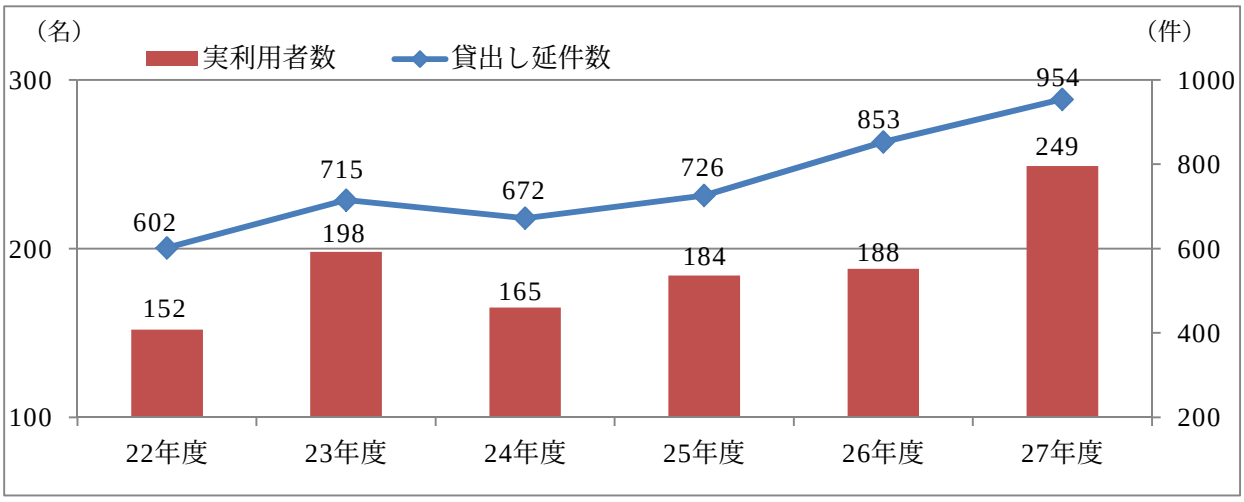
（３）地域サポート事業

①車いす貸出事業

要介護１以下の方や病気やケガなどで一時的に介助が必要となる方に車いすを貸し出すことで、通院などの移動や在宅での生活における介助負担を軽減し、在宅福祉の推進や外出時の利便性向上につながりました。

貸出状況　（単位：名／件）

区　　分	実利用者	貸出延べ件数
本　　所	203	826
綾 歌 分 室	12	33
飯 山 分 室	34	95
合　　計	249	954



②イベント機材貸出事業

地域での住民同士の交流やコミュニケーション等の場作りのため、機材の貸出を行いました。平成２８年１月より貸出場所、貸出対象者を見直し、市内の地域イベント活性化に努めました。

貸出機材利用状況　（単位：件）

機　材	件数	機　材	件数	機　材	件数	機　材	件数
輪　投　げ	30	思い出カルタ	4	ﾌﾘｰｽﾀｲﾙ輪投げ		ゲームレール	1
ダ　ー　ツ	14	ジャンボサイコロ	4	カラオケマイク	1	省エネカルタ	
ﾈｯﾄﾊﾟｯﾄｺﾞﾙﾌ	13	おさかなカルタ		射　　的	3	どうぶつ絵合わせ	1
ビ　ン　ゴ	11	新　十　扇	2	凡 リ ン グ	1	日本トランプ	2
ＤＶＤ・ビデオ	4	紅 白 返 し	4	環境カルタ		ジ ェ ン ガ	

機　材	件数	機　材	件数	機　材	件数	機　材	件数
防災グッズカードゲーム	1	ルービックキューブ		ホッパーズ	1	唱　歌	4
低床式玉入れ	2	ターゲットバードゴルフ	1	オ　セ　ロ	1	漢字はかせ	1
ストライクアウト	3	ビーンボーリング	1	簡単テント	31	長　机	12
パイプ椅子	11	丸　椅　子	5	かき氷機（電動・手動）	28	綿菓子機	21
ポップコーン機	8	お好み焼き鉄板	8	フライヤー	11	たこやき機	3
やきいも機	4					合　計	252

（平成26年度 222）

体験グッズ貸出　　（単位：件）

機　材　名	件　数	機　材　名	件　数
もみじ箱	130	白　　杖	14
点字付オセロ	10	聴覚障がい者体験セット	
点　字　盤	43	視覚障がい者体験セット	12
		合　計	209

（平成26年度　26）

新規事業　**③福祉車両貸出事業**

平成２８年１月より、外出が困難な市民に貸し出すことにより、買い物・通院など日常生活の便宜を図るとともに、行事の参加や行楽の機会を促進することを目的に事業を開始しました。

貸出車輌利用状況　　（単位：件）

車　両		件数
日　産　キャラバン	定員：10人	1
ホンダ　ステップワゴン	定員：　8人	
いすず　ワゴン	定員：　8人（車いす2台乗車可能）	5
合　計		6

日産　キャラバン（10 人乗り）

いすず　ワゴン（車いす 2 台乗車可能）

新規事業 **④育児用品貸出事業の備品整備**

平成２８年４月より、次世代を担う丸亀市の子どもたちの健やかな成長をサポートするとともに、子育てにかかる経済的な負担軽減を目的に、乳幼児の保護者等にベビーカー、チャイルドシート等の貸出事業準備のための備品整備を行いました。

新規購入物品の整備とともに、家庭で使用しなくなった育児用品のリユース受付も行い、継続可能な仕組みづくりに取り組みました。

育児用品整備状況　（単位：台）

用品名	台数	
	購入品	リユース品
ベビーカー	50	9
チャイルドシート	50	
チャイルドシート（ロングユース）	25	5
ジュニアシート	90	2
ベビーベッド	30	2
ゲートサークル		5
ベビーバス		9
ベビーチェア		2
合　計	245	34

ベビーベッド、チャイルドシート、ベビーカー
（購入品）

ベビーバス
（リユース品）

重点項目（４）生活困窮者自立支援事業（丸亀市自立相談支援センターあすたねっと）

重点項目 ①自立相談支援事業

平成２７年４月から生活困窮者自立支援法が本格施行となり、全ての福祉事務所で生活困窮者支援に取り組むこととなりました。丸亀市では、平成２５年１１月からのモデル事業での実践を活かし、自立相談支援事業・家計相談支援事業を本会が受託しました。

丸亀市保健福祉センター１階に「自立相談支援センター（愛称：あすたねっと）」を開設し、生活保護に至る前の困窮状態から早期に脱却することを支援するため、センター長を含む５名体制で、関係機関の連携のもと、包括的・継続的な寄り添い型の支援を行いました。

（ア）視察受け入れ及び研修報告会の実施

生活困窮者支援事業に取り組む様々な自治体等から視察を積極的に受け入れ、具体的な取り組み状況の報告や意見交換を行いました。

視察受け入れ状況

年 月 日	市町名	訪問者
27．5.27	静岡県磐田市議会議員	議員６名
6.16	愛媛県 東温市社協・砥部町社協・松前町社協	社協職員１０名
10.22	茨城県結城市議会議員	議員６名・事務局３名
28．3.18	岡山県瀬戸内市社協評議員	社協評議員１８名・事務局２名
3.24	千葉県市川市議会議員	議員３名

研修報告会

年 月 日	内　　容	場　　所
27．4.21	生活困窮者自立支援事業に関する町社協担当者会	香川県社会福祉総合センター
5.24	ＮＰＯ法人ＫＨＪ香川県オリーブの会定例会	香川県社会福祉総合センター
8.27 ～29	第２１回地域福祉実践研究セミナーin香川・中讃	香川県中讃地区各社協施設等
10．3	ＣＳＷ香川県中讃ブロック研修会	綾川町社会福祉協議会
28．1.13	平成２７年度香川県県内社会福祉協議会実践研究大会	香川県社会福祉総合センター
2.17	生活困窮者自立支援事業に関わる伝達研修	香川県庁

（イ）研修会の参加

本事業の理念や実践方法、他機関との連携体制づくりについての研修会に参加しました。相談業務にあたる職員のスキルアップのため、主任相談支援員・就労支援員等の養成研修やアディクション関連研修会、多重債務・精神保健福祉関係の研修会に参加しました。

年 月 日	内　　容	場　　所
27．6.11	第２６回中国・四国地区救護施設研究協議大会	オークラホテル丸亀
12．8 ～ 9	主任相談支援員スキルアップ研修【前期】	綿商会館（東京都）
12．9 ～11	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 就労支援員養成研修【後期】	全社協・中央福祉学院
28．3.15 ～16	主任相談支援員スキルアップ研修【後期】	綿商会館（東京都）

（ウ）自立相談支援事業相談状況

相談受付件数　　（単位：件）

月	前年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談登録者	118	8	5	15	7	8	7	8	10	11	3	4	4	90

性別･年齢　　（単位：名）

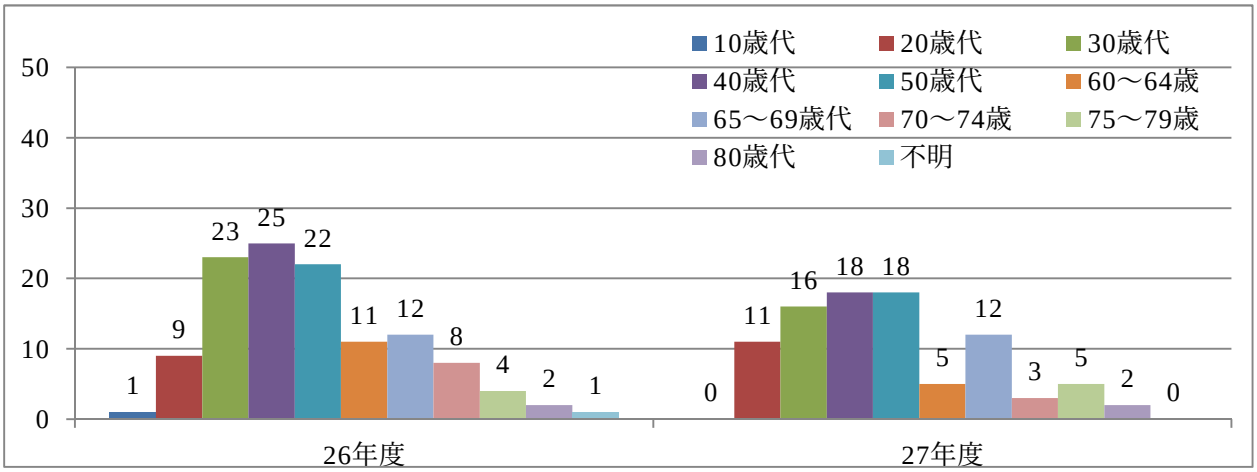
年　齢	前年度	27 年度		
		男	女	合計
10 歳代	1			
20 歳代	9	6	5	11
30 歳代	23	6	10	16
40 歳代	25	8	10	18
50 歳代	22	10	8	18
60～64 歳	11	3	2	5
65～69 歳	12	7	5	12
70～74 歳	8	1	2	3
75～79 歳	4	4	1	5
80 歳代	2	1	1	2
不　明	1			
合　計	118	46	44	90

外国籍･刑余者数　　（単位：名）

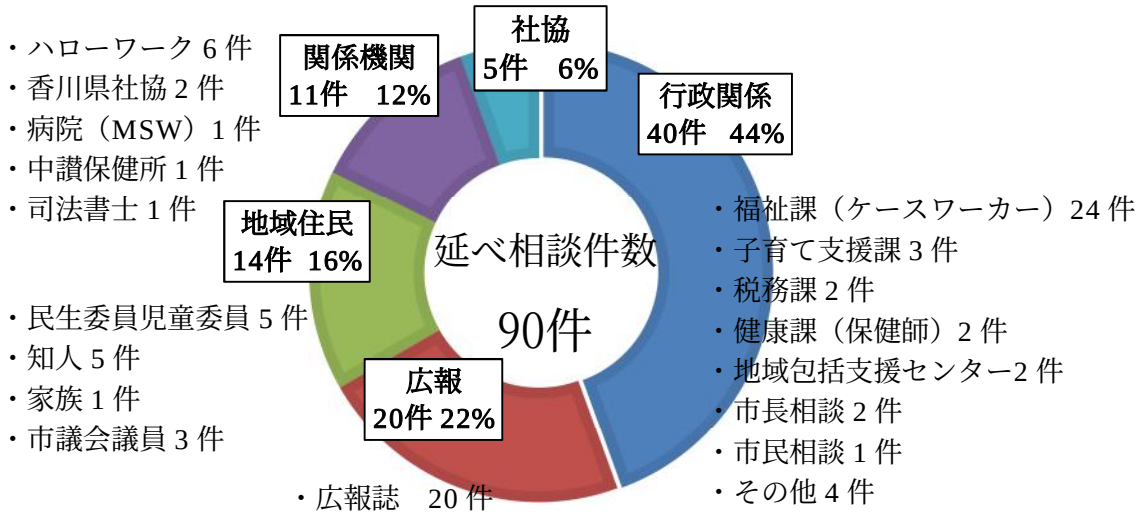
区　分	26 年度	27 年度
外 国 籍	3	2
刑 余 者	7	1
合　　計	10	3

世帯構成　　（単位：世帯）

区　分	26年度	27年度
単身世帯	34	30
複数世帯	84	32
合　　計	118	62



相談経路



《概説》

年齢層は、前年度と同様、３０歳～６０歳の稼働年齢層からの相談が多く、相談経路は、行政関係からの紹介が一番多く、次に、広報を見て相談に来られる方、民生委員児童委員や知人からの紹介の順になっています。また、新たな相談経路として、司法書士・香川県社協のフードバンクからのつなぎがありました。

相談対応　（単位：件）

内　　容	26 年度	27 年度
来所相談	909	1,310
電話相談	1,734	3,464
訪問相談	429	282
同行相談	69	166
合　　計	3,141	5,222

緊急性　（単位：件）

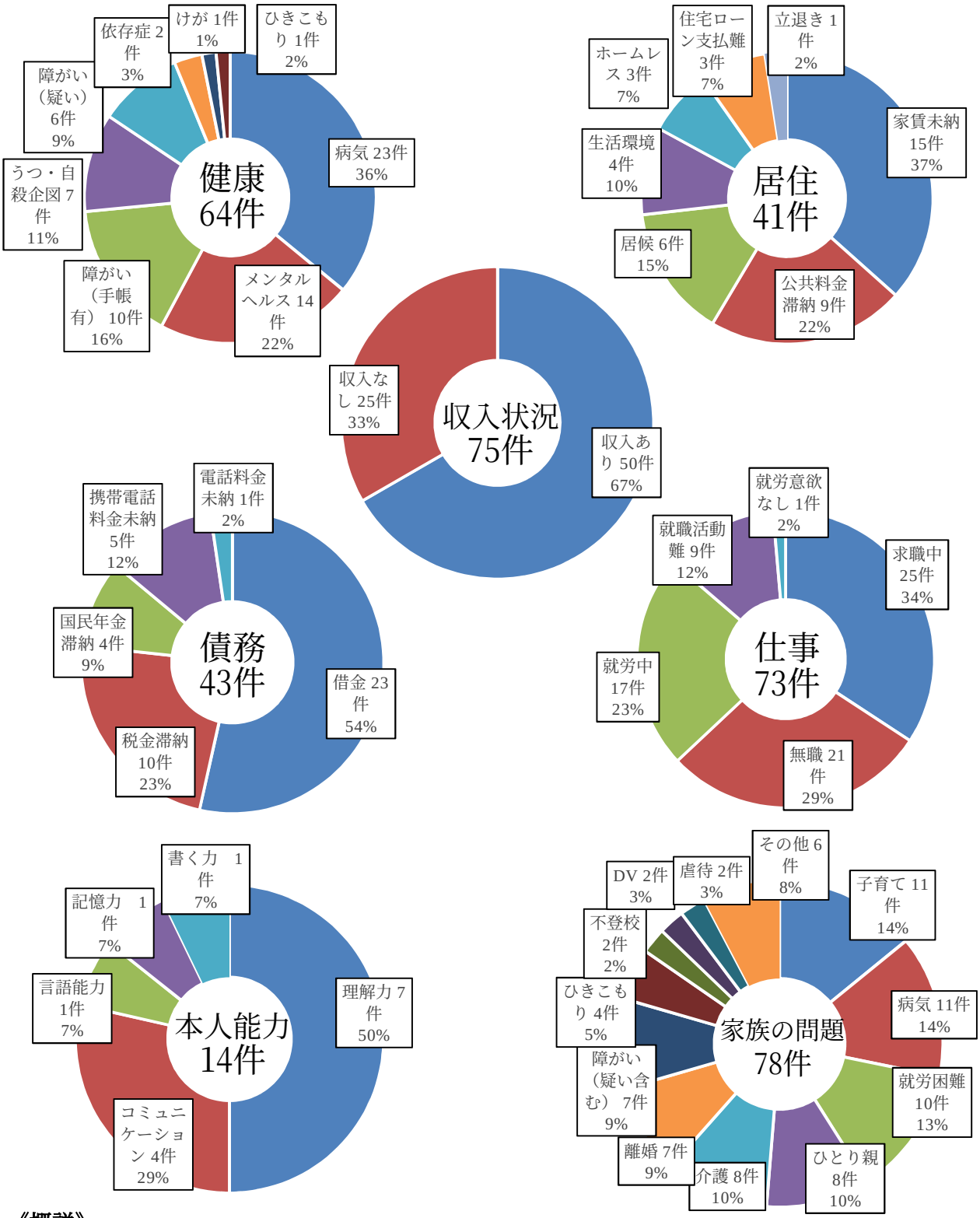
内　　容	26 年度	27 年度
食　　糧	11	13
住 ま い	6	20
合　　計	17	33

《概説》

相談窓口として浸透してきたことにより、相談対応合計は、約１．７倍に増加しました。

限られた相談員数のため訪問相談には限界がありますが、相談者は精神に障がいを持つ方や一人で不安を抱えている方が多く、電話相談は約２倍、同行相談も約２．５倍となりました。

相談内容

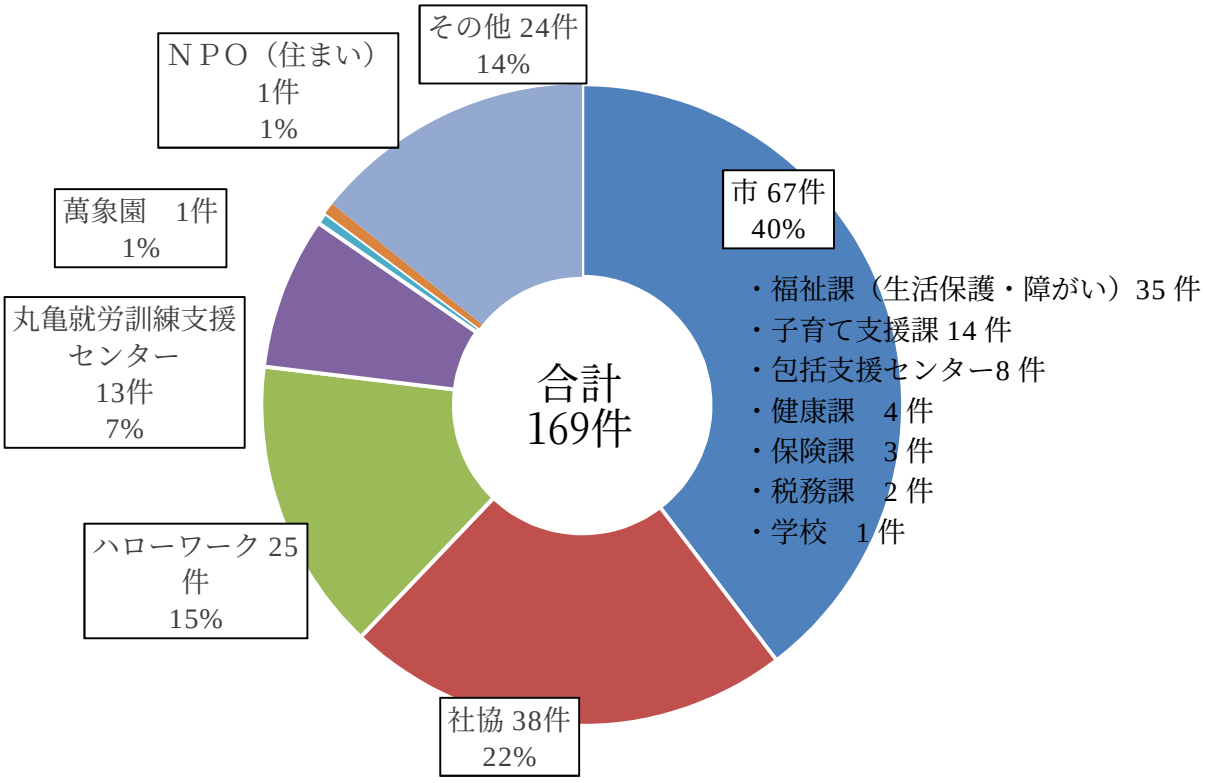


《概説》

相談内容は、家族の問題、収入状況、仕事に関する課題が多く、半数が何らかの債務を抱えています。仕事に関する課題については、障がいを持っていたり、精神面での課題を抱えている方の就労が困難となっています。

相談者一人あたり４件以上の複合的課題を抱えており、解決に時間がかかる状況です。

連携機関（つなぎ先）



《概説》

連携機関は、丸亀市が最も多く、福祉課（生活保護、障がい）、子育て支援課、包括支援センターの順となりました。

就労支援は、ハローワークや就労準備支援事業実施機関と密にケース会議を行い、その方の状況に合わせた支援を実施しました。

社協内事業との連携では緊急支援が多く、資金貸付・食料支援等が上位となり、就労支援としては、相談者にボランティアとして定期的に来所してもらい、軽微な事務作業を行うことで支援を実施しました。

平成２８年４月より、香川県内社協全てが社会福祉法人施設と協働して実施する「かがわ思いやりネットワーク事業」がスタートし、丸亀市では「おもいやりネットまるがめ」を立ち上げ、関係機関との協力体制の整備に取り組んでいます。今後、事業連携先としての活用が期待できます。

プラン経過及び相談状況　　（単位：件）

内容＼月		前年度累計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1.プラン作成 支援決定・確認件数		**80**	**8**	**3**	**2**	**2**	**4**	**4**	**5**	**3**	**5**	**2**	**1**	**2**	**41**
プラン内容	住宅確保給付金			1		1		1						1	4
	就労準備(萬象園)	7	2			1	1	2	1					1	8
	就労準備（サポステ）	35	1	1	2	1	3	1	2	2	4	1	1	1	20
	家計支援	12	2	1			3	1	2				1	1	11
	学習支援	18								1	1				2
	ﾊﾛｰﾜｰｸｴﾝﾄﾘｰ	27	1	2	2	1	3	1	3	2	4		1	1	21
	その他	3	3									1			4
2.プラン継続		**30**	**29**	**22**	**23**	**21**	**19**	**17**	**17**	**18**	**20**	**19**	**17**	**17**	
継続内容	住宅確保給付金		1	1	1	1	1	1	1	1					
	就労準備(萬象園)	3	4	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	3	
	就労準備（サポステ）	21	16	11	13	12	10	9	9	9	11	10	9	9	
	家計支援	9	5	3	4	4	6	6	6	6	5	4	3	3	
	学習支援									1	1	2	2	2	
	ﾊﾛｰﾜｰｸｴﾝﾄﾘｰ	14	15	11	12	11	9	8	8	9	11	10	9	9	
	その他	5	5	4	3	3	3	2	1	1	1	1	1	1	
3.プラン終結		**21**	**8**	**6**	**2**	**3**	**4**	**3**	**2**	**2**	**2**		**2**		**34**
終結内容	就労	8	2	6	1	2	4	1		1					17
	他サービスつなぎ	1	1			1		1	1						4
	本人希望による支援辞退	2			1			1	1		2		2		7
	市外転出	1	1												1
	生活保護	6	4												4
	死亡									1					1
4.相談経過観察		**1,034**	**54**	**55**	**54**	**56**	**53**	**61**	**59**	**58**	**56**	**59**	**55**	**60**	**680**

（エ）支援調整会議の実施

丸亀市福祉課が主催する会議において、相談者の自立を促進するための支援方針・支援内容・本人の達成目標等を盛り込んだ支援プランを関係機関と協議しました。本人の同意と行政の支援決定がなされた支援プランに基づき、様々な機関が連携しながら自立に向けた支援を行いました。本年度からは月２回となり、年間２４回の開催となりました。

（オ）生活困窮者自立促進支援事業運営協議会への参加

丸亀市福祉課が行う運営協議会へ参加し、行政機関を中心とした関係機関との情報交換や意見交換を行い、生活困窮者自立支援法の理念や内容の共有を図るとともに、関係機関による生活困窮者支援体制の確立に努めました。

（カ）関係機関とのネットワーク強化

（単位：名）

年月日	内容	参加人数	場所
27．5.27	丸亀市地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	23	丸亀公共職業安定所
5.29	第１回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	53	中讃保健福祉事務所
6.15	生活保護受給者等就労支援協議会	21	坂出公共職業安定所
11.27	第３回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	32	中讃保健福祉事務所
28．2.17	障害者雇用連絡会議	18	丸亀公共職業安定所
2.19	第４回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	35	中讃保健福祉事務所
2.23	障害者雇用連絡会議	19	坂出公共職業安定所

（キ）サロンの開催

相談者の中には、日頃あまり人と接することが少なく、「話を聞いてほしい」という相談も多くみられます。また、食事の作り方や片づけの仕方などに不安を感じている方もいることから、生活で重要な「食」をテーマとしたサロンを開催しました。

食事を作ることで生活の自立を促し、会話をすることでサロンが居場所となり、効果的な支援につなげることができました。運営のための支援者として、丸亀市食生活改善推進協議会の男性ボランティアの方々にご協力いただいたことで、男性が参加しやすいサロン運営に努めました。

（単位：名）

年月日	内容	参加人数	場所
27．6．9	ごはんを一緒に作って食べよう	9	ひまわりセンター
7.21	ごはんを一緒に作って食べよう	12	ひまわりセンター
10．8	ごはんを一緒に作って食べよう	8	ひまわりセンター
12.21	ごはんを一緒に作って食べよう	8	ひまわりセンター
28．2．8	ごはんを一緒に作って食べよう	8	ひまわりセンター
3.17	ごはんを一緒に作って食べよう	8	ひまわりセンター

（ク）生活困窮世帯への緊急時支援物資の支給

制度の狭間にある生活困窮者世帯が抱える生活課題に対して、丸亀市自立相談支援センター「あすたねっと」で相談を受け、ケースに応じて給料・年金・資金の貸付等を受けるまでの一時的な食料を支給しました。

（単位：件）

区　　分	２６年度	２７年度
支援物資支給延べ件数	283	336

重点項目 ②家計相談支援事業

丸亀市より受託し、生活困窮者の家計の再生を図るため、家計等に関するきめ細やかな相談支援事業を実施しました。相談員が、相談者の抱えている生活課題や希望を丁寧に聞きとりながら一ヶ月の家計収支の見直しを行うことで、暮らしの改善につながるように支援しました。

また、専門的な知識を要する支援については弁護士と連携し、債務整理などの支援につなげました。

（単位：人／回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	累計
利用人数	5	4	4	4	6	6	6	6	6	5	5	5	62
実施回数	5	1	11	19	14	15	17	10	3	4	4	7	110

（単位：件）

相 談 内 容	件　数	相 談 対 応
多重債務整理	1	法テラスに相談
家計収支確認	8	月１回程度の相談確認

【生活困窮者自立支援事業の現状と今後の課題】

・家族全体の課題では、８０５０問題（８０代の親と５０代の障がいをもつ子どもの二人暮らし）の家庭も多く見られ、家族全体を支援するためには、それぞれの支援機関が密に連携して支援する必要があります。
・健康の課題では、精神面での支援が必要な方が増加しており、支援が長期化するケースが多くなっています。
・就労の課題では、就労定着の見極めが難しく、継続的なフォローアップも必要です。
・居場所の課題では、相談者の身近な地域において、不安を抱えている方が気軽に集まり話ができる場が必要です。
・住まいの課題では、一時的な住居確保が必要であるが、相談者の身近な生活圏域ごとに整備を検討する必要があります。
・相談支援を実施する上での全体的な問題では、支援員が必要と感じる支援がなかなか本人に受け入れられず、支援につながらないことがあります。相談者との信頼関係の構築や具体的な目標を相談者と一緒につくりあげていくためには、長い時間をかける必要があります。

新規事業 **③香川おもいやりネットワーク事業（おもいやりネット丸亀）**

平成２７年４月より、香川県内の社会福祉法人施設や社会福祉協議会、民生委員児童委員がつながり、「生活のしづらさ」を抱えた方をトータルで支援する仕組みとして、香川おもいやりネットワーク事業が開始されました。

それぞれの市町社会福祉協議会がコーディネーターとなり、社会福祉法人施設に参加を呼びかけ民生委員児童委員とともに協議体づくりに取り組み、丸亀市では８法人１１施設の参加による「おもいやりネット丸亀」を立ち上げ、関係機関・団体のネットワークを活かした支援を開始しました。本年度は、２件１８２，２５６円の生活支援・教育支援を行いました。

【参加法人・施設名】 ※社会福祉協議会は除く

社会福祉法人名	施　設　名
鵜足津福祉会	土器川荘
	今津荘
	マイルドハート丸亀
	土器川タウン
宝樹園	青の山荘
祷友会	紅山荘
香川県社会福祉事業団	香川県ふじみ園
萬象園	萬象園
博安会	たるみ荘
うぶすな会	丸亀さんさん荘

【地域ネットワーク会議】

年月日	内　　容	場　　所
27．9.28	事業説明・地域ネットワーク会議の検討課題について	ひまわりセンター
28．1.25	施設の機能紹介・生活困窮者支援事例の検討について	ひまわりセンター

【支援状況】 （単位：円）

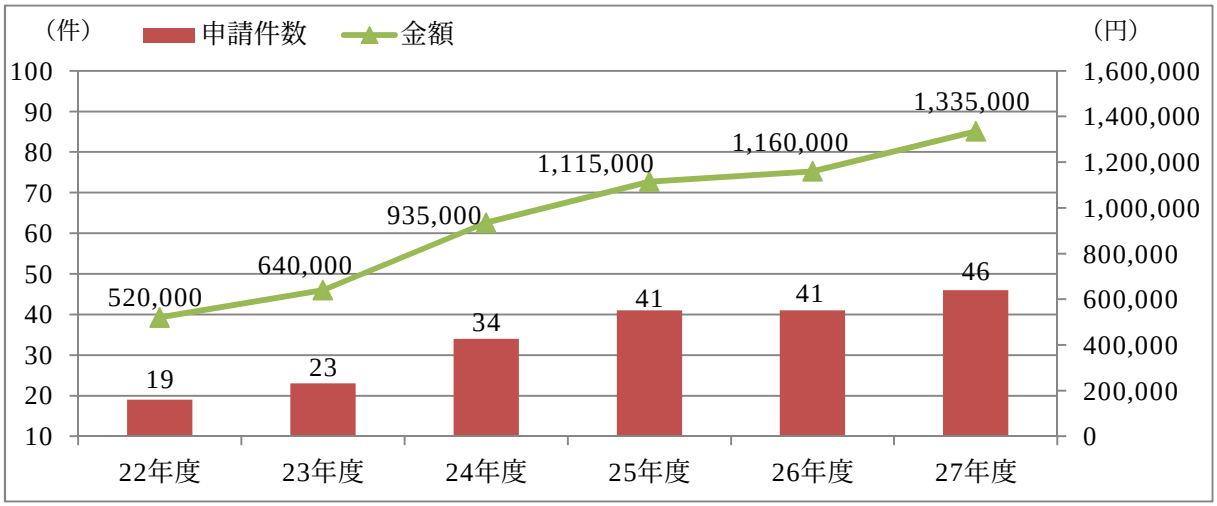
年月日	相談種別	援　助　内　容	金　　額
27.12.11	ホームレス	健康診断及び診察代、薬代 施設での生活費	72,256
28．1.25	その他（生活困窮）	入学費	110,000
合　　計			182,256

④助け合い金庫運営事業

公的資金援助制度等の利用対象とならない市内在住の低所得世帯等に対し、民生委員児童委員の協力のもと、本会が独自に生活資金の貸付（上限３０，０００円）を行い、自立更生に向けて安定した生活が営めるよう指導・援助を実施しました。

【延べ相談件数174件】　　（単位：件／円）

区　分	２６年度		２７年度	
	件　数	金　額	件　数	金　額
助け合い金庫	41	1,160,000	46	1,335,000



⑤生活福祉資金貸付事業

香川県社会福祉協議会より委託を受け、市内在住の低所得者・高齢者・障がい者世帯及び求職・離職者世帯を対象に資金の貸付事業を行い、世帯が抱える複合的な課題に対し、相談支援と必要な資金の貸付により、世帯の経済的自立と生活意欲の高揚に努めました。

【延べ相談件数144件】　　（単位：件／円）

区　分	２６年度		２７年度	
	件　数	金　額	件　数	金　額
総合支援資金	1	420,000		
教育支援資金	2	1,155,000	3	2,614,400
福祉資金			1	78,000
緊急小口資金	41	2,616,000	47	3,309,000
不動産担保型生活資金				
臨時特例つなぎ資金			1	66,000
合　計	44	4,191,000	52	6,067,400

重点項目（５）成年後見推進事業（後見センターまるがめ）

重点項目 ①法人後見推進事業

精神上の障がい（知的障がい・精神障がい・認知症等）により判断能力が十分でない方の権利擁護のための成年後見制度に法人組織として取り組み、利用者保護に努めました。

また、弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門職で組織する運営委員会において、受任案件の協議や業務上の相談などをご指導いただくことで、確実な事業実施に努めました。

（ア）法人後見運営委員会　　（単位：名）

年 月 日	内　　容	出席委員	場　　所
27．4.22	後見受任・後見受任状況報告	7	ひまわりセンター
6.24	後見受任・後見受任状況報告 市民後見人候補者について 被後見人の医療の対応について	7	ひまわりセンター
7.22	後見受任・後見受任状況報告 成年後見制度講演会について	7	ひまわりセンター
8.26	後見受任・後見受任状況報告 成年後見制度講演会について 法人後見業務の相談について	7	ひまわりセンター
10.28	後見受任ケースの相談・後見受任状況報告 成年後見制度講演会について	7	ひまわりセンター
12.21	後見受任・後見受任状況報告 平成28年度市民後見人候補者ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ研修について	7	ひまわりセンター
28．3.29	後見受任・後見受任状況報告 救命救急希望の有無等の対応について 被後見人の住所について 平成27年度法人後見事業報告について 平成28年度市民後見人候補者の新規養成について	7	ひまわりセンター

（イ）新規受任内容

№	受任開始年月日	類　型	性別	年　齢	支援内容等
1	27．4．1	後　見	女	88歳	H27．9.29死亡により終結
2	4.30	後　見	女	82歳	身上監護・金銭管理
3	5.11	後　見	女	78歳	H27.12.14死亡により終結
4	6.25	後　見	男	75歳	H28．2.10死亡により終結
5	8．7	保　佐	男	79歳	身上監護・金銭管理
6	10.21	後　見	女	87歳	身上監護・金銭管理
7	28．1.15	後　見	女	86歳	身上監護・金銭管理

重点項目 ②市民後見推進事業

本年度は、市民後見人候補者として法人後見支援員活動をされている方の中から、８月に２名の方が丸亀市初の「市民後見人」として家庭裁判所から選任され、活動を開始しました。

新たな市民後見人の養成のため、法人後見支援員として被後見人等の居所を訪問する現場実習を継続的に行い、後見活動を行う上での心構えや留意点などの実例を交えたフォローアップ研修会を開催することで、市民後見人候補者のスキルアップにつなげました。

市民後見人フォローアップ研修会

（単位：名）

年 月 日	内　　容	参加人数	場　　所
27．5.27	連絡会 ・「後見センターまるがめ」開設・年度計画	13	ひまわりセンター
6月～ 毎月１回	法人後見支援員活動 ・訪問での現場実習	随時	ひまわりセンター
9.17	連絡会 ・市民後見人誕生 ・法人後見支援員活動報告等 【講師】ﾘｰｶﾞﾙｻﾎﾟｰﾄかがわ 司法書士　大塚　昭男氏	12	ひまわりセンター
28．2．4	連絡会 ・活動報告 ・平成28年度フォローアップ研修計画	11	ひまわりセンター
3.10	「事例検討・細菌の状況について」 【講師】香川県社会福祉士会ぱあとなあ香川 社会福祉士　時岡　信一氏	11	ひまわりセンター

（ア）研修会の参加

年 月 日	内　　容	場　　所
27．9．4	自治体向けセミナー 「市民後見人育成事業への取組み」	ひめぎんホール(愛媛県)
28．1.13	「市民後見」という希望 ～地域でともに生きるために～	坂出グランドホテル
2．2	平成27年度　成年後見制度基礎講座	ひまわりセンター
2．4	平成27年度　地域福祉フォーラム 「地域生活と権利擁護　住み慣れた地域で暮らし続けるために」	ホテルパールガーデン
2．6	成年後見制度研修会	香川県社会福祉総合センター

年 月 日	内　　容	場　　所
28．2.11	市民後見人・成年後見制度啓発シンポジウム 「これからの認知症施策の推進と市民後見人への期待」	ヴィアーレ大阪(大阪府)
3．4 3．8 3.11	平成27年度成年後見制度人材養成研修会	香川県社会福祉総合センター
3．9	平成27年度第2回市民後見推進モデル事業自治体研修会	スクワール麹町「錦華」(東京都)
3.16	高齢者虐待防止等実務者会議 「高齢者虐待対応等における後見人業務の実際」	ひまわりセンター

（イ）市民福祉講座の開催

本年度も成年後見センター・リーガルサポートかがわより大塚昭男司法書士をお招きし、成年後見制度についての講座を開催しました。制度における支援内容や相続・遺言についてなど、身近な生活課題をテーマに具体的な事例をお話しいただき、制度の周知啓発に努めました。

（単位：名）

年 月 日	内　　容	参加人数	場　　所
27．7.10	地域で支える成年後見制度 ～成年後見制度と老後の準備～	88	ひまわりセンター

市民福祉講座

（ウ）丸亀市市民後見推進事業（成年後見制度講演会の開催）

一般市民を対象とした講演会を行い、成年後見制度の広報・周知に努めました。

第１部では、家庭裁判所主任書記官から制度についてのご講演をいただき、第２部では、パネルディスカッションとして、弁護士など、制度に関わる専門職が、それぞれの立場から制度利用の推進や市民後見人の必要性について熱く語られました。

また、市民後見人からは、市民目線での後見業務の取り組みについて具体的な活動報告があり、聴講者は熱心にメモをとっていました。

（単位：名）

年 月 日	内　　容	参加人数	場　　所
27.11.26	第１部講演 「成年後見制度と市民後見人について」 講　師 高松家庭裁判所丸亀支部主任書記官　杉田真由美　氏 第２部パネルディスカッション ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ ﾘｰｶﾞﾙｻﾎﾟｰﾄかがわ司法書士　大塚　昭男　氏 ｼﾝﾎﾟｼﾞｽﾄ 高松家庭裁判所丸亀支部主任書記官　杉田真由美　氏 弁護士　馬場　俊夫　氏 地域包括支援ｾﾝﾀｰ社会福祉士　重成　宏美　氏 後見センターまるがめｾﾝﾀｰ長　南　俊平　氏 市民後見人　亀野　忠郎　氏 市民後見人　宇野ひろみ　氏	167	ひまわりセンター

第１部　杉田　真由美氏による講演

第２部　パネルディスカッション

③福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

判断能力に不安があるため適切な福祉サービスを受けることができない方を対象に、地域で自立した生活が送れるよう、３名の専門員と１７名の生活支援員で、福祉サービスの利用手続きの援助や利用料の支払代行などを行いました。

丸亀市福祉課、高齢者支援課、包括支援センターなどの関係機関と連携し、状況把握するとともに、生活困窮者自立支援事業や法人後見事業と合わせた切れ目のない支援に努めました。

（ア）専門員研修会

利用者の生活状況やニーズを的確に把握し、本人の自己決定の尊重・自立支援の観点から社会資源を活用した適切な支援ができるよう、香川県社会福祉協議会が開催する研修会（専門員研修会・あんしんネット勉強会）や、香川県精神保健福祉センターが開催するアディクション相談会などに参加しました。

（イ）生活支援員研修会

香川県社会福祉協議会が開催する生活支援員新規登録研修会・集合研修会・ブロック別研修会に参加し、対人援助の基本的な視点や知識・技術、態度の習得に努めました。また、関連する成年後見制度基礎講座や高齢者虐待防止等実務者会議にも参加し､知識の向上に努めました。

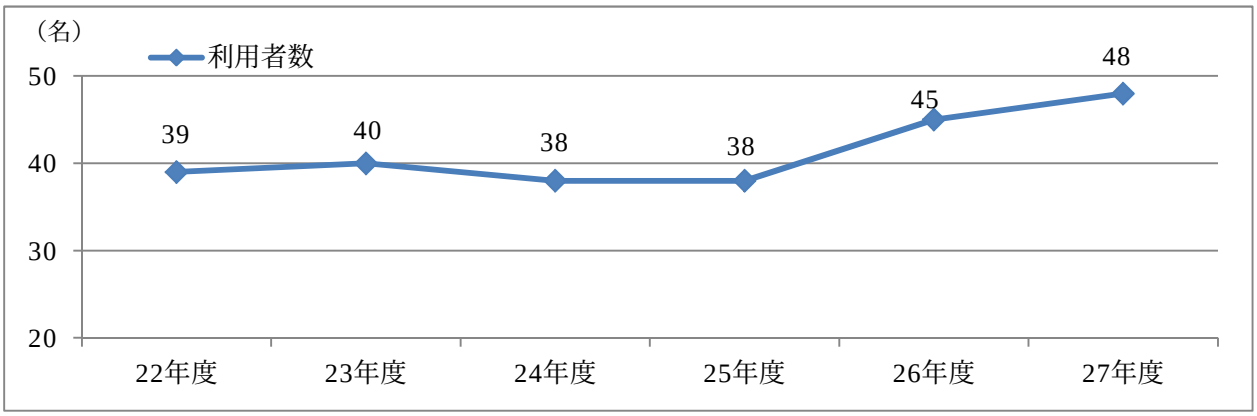
（ウ）精神保健福祉連絡会（かめたの会）

当事者や近隣の精神保健福祉に関わる機関（行政・病院・施設及び団体等）が一同に会し、精神保健福祉向上のための情報収集・意見交換を行いました。また、研修会等に参加し、関係機関との連携強化に努めました。

（エ）福祉サービス利用援助事業利用状況（各月末時利用者数）

（単位：名）

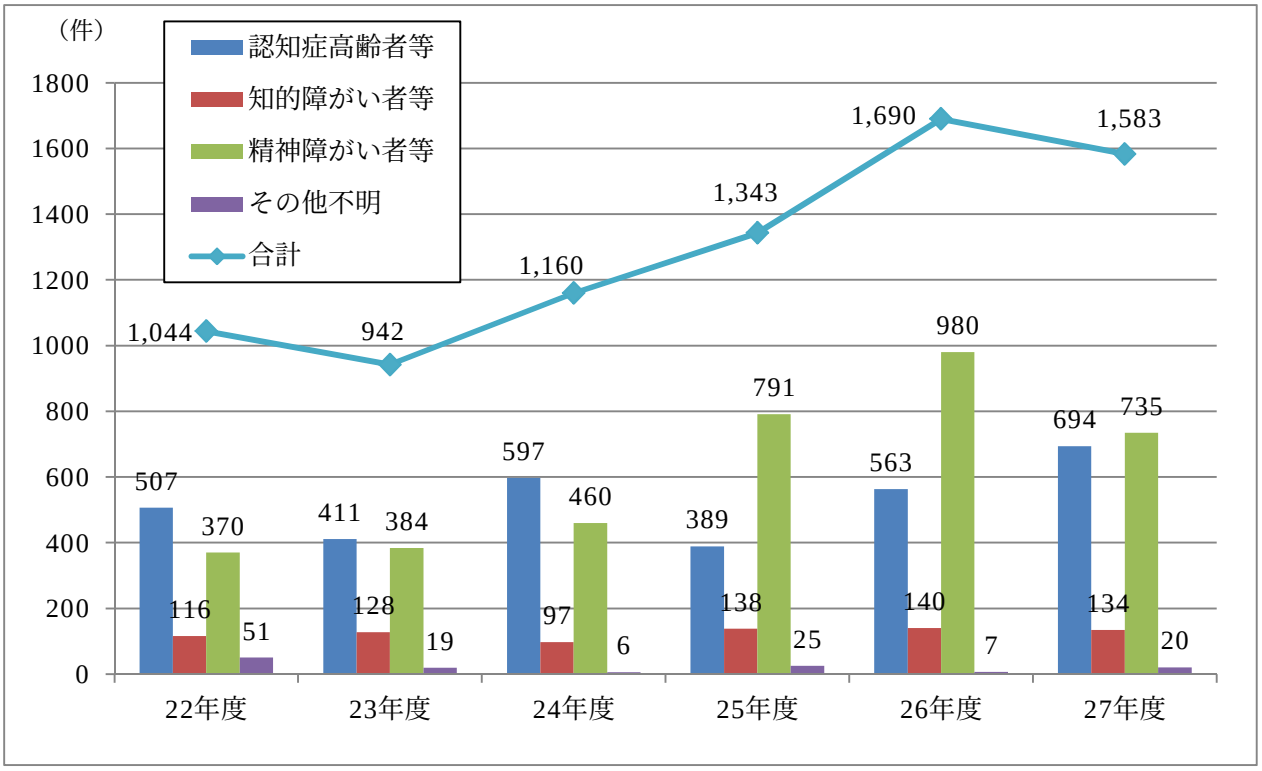
月／項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	26年度末
人数	46	46	49	47	49	47	45	46	45	46	46	48	45



（オ）相談・問い合わせ件数

（単位：件）

件数	対　象　者		相 談 経 路		主な相談内容
1,583	精神障がい者等	735	本人	1,028	福祉サービスの手続き等
	認知症高齢者等	694	保健、医療、福祉機関	338	日常的金銭管理等
	知的障がい者等	134	行政（包括、生保等）	127	書類等の預かり
	その他、不明	20	家族、親類	47	保健サービスの手続き
			その他	40	医療に関する事項
			知人	2	福祉サービスに関する苦情
			民生委員児童委員	1	今後の生活設計等
					本事業に関する問い合わせ
					成年後見制度に関する問い合わせ
1,690	２６年度合計件数				



（６）ファミリー・サポート・センター事業

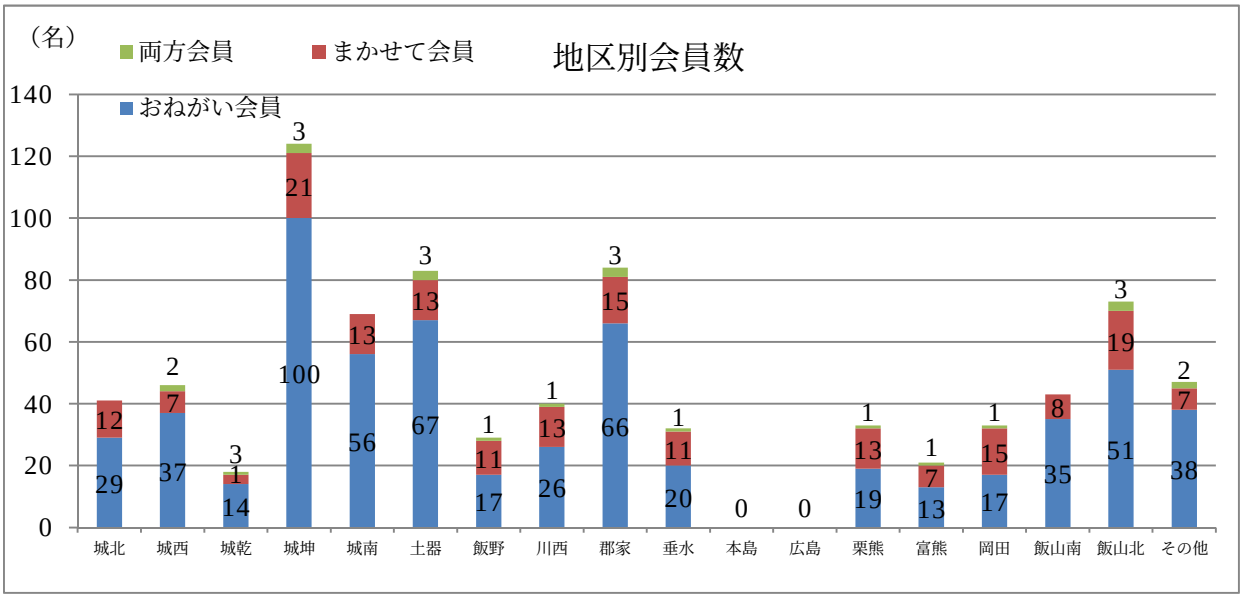
平成２３年度より丸亀市ファミリー・サポート・センターを開設して５年が経過し、事業の定着とともに、会員数や利用件数は増加しています。「おねがい会員」と「まかせて会員」の事前打ち合わせ（マッチング）件数も増加し、会員同士の信頼関係ができることで、地域の子育ての輪が拡がりを見せています。

子育て世代が集まるイベントで登録相談会を開催し、会員の増加に努め、スキルアップ研修会やサポートミーティングを開催し、活動に対する意識の向上を図りました。

①年度別会員登録者数

（単位：名）

項　　目	２５年度	２６年度	２７年度
まかせて会員	150	167	188
おねがい会員	441	536	605
両 方 会 員	16	19	23
合　　計	607	722	816



おねがい会員宅での預かり

ファミサポルームでの預かり

②活動実績　　（単位：件）

項　　目	２５年度	２６年度	２７年度
保育所・幼稚園前後の預かり	220	215	377
保育所・幼稚園への送迎	436	301	357
小学校・青い鳥教室前後の預かり	56	8	2
小学校・青い鳥教室前後の送迎	143	118	31
デイサービスの送迎	36	59	43
子どもの習い事等の援助	63	97	148
保育所・小学校等休み時等の援助	13		31
保護者等が就労時の援助	34	3	44
保護者等が外出時の援助	65	25	62
合　　計	1,066	826	1,095

③講習会の開催　　（単位：名）

年月日	内　　容	参加人数	場　　所
27．6.22、6.24 6.29、6.30	まかせて会員養成講座	各15	ひまわりセンター
8．7	スキルアップ研修会 「親子の愛着～大人に求められる役割～」 講師　西部子ども相談センター 児童心理司　櫛田　崇弘　氏	30	ひまわりセンター
11.10、11.11 11.17、11.18	まかせて会員養成講座	各20	ひまわりセンター
28．2．5、2.16 2.17、2.19	まかせて会員養成講座	各11	ひまわりセンター
2.10	スキルアップ研修会（丸亀・坂出・うたづ合同） 「子どもの生きる力を育むために ～子どもとのコミュニケーション～ 講師　四国学院大学　社会福祉学部 社会福祉学科教授　島影　俊英　氏	59	宇多津町保健センター

まかせて会員養成講座　内容

内　　容	講　　師
子育てをめぐる状況とファミサポ事業について	ＮＰＯ法人わははネット 理事長　中橋　恵美子　氏
発達障害のある子をサポートする ～家族の気持ちに寄り添って～	ひもりの里診療所 事務局長　社会福祉士　大山　茂之　氏
子どもの栄養	丸亀市子ども未来部幼保運営課 主査　栄養士　矢野　陽子　氏
子ども虐待防止	西部子ども相談センター 所長　合田　真知子　氏
心肺蘇生方法とＡＥＤの使い方	日本赤十字社　香川県支部 事業推進課長　藤原　淳子　氏
手引きの説明	丸亀市ファミリー･サポート･センター アドバイザー
心の発達とその問題	丸亀市子ども未来部幼保運営課 指導主事　保育士　常包　雅子　氏
子どもとのコミュニケーション ～乳幼児との遊び方～	丸亀市子ども未来部幼保運営課 主査　保育士　大田　美絵　氏
子どもの世話	丸亀市子ども未来部子育て支援課 家庭児童相談員　保育士　苧坂　美子　氏
子どもの安全～家庭内事故・対応処置～	丸亀市子ども未来部幼保運営課 主査　保健師　香川　美日子　氏
子どもの病気とアレルギー	杢保小児科医院 院長　平場　一美　氏

まかせて会員養成講座

スキルアップ研修会

④会員交流会の開催

（単位：名）

年 月 日	内　　容	参加人数	場　　所
27．7.19	樹木医交流会「ふしぎがいっぱい　木のヒミツ」 講師　樹木医　高橋　瑞貴　氏	38	ひまわりセンター 丸亀城内各所
9.16	まかせて会員サポートミーティング	13	ひまわりセンター
12.19	クリスマス交流会	67	ひまわりセンター

樹木医交流会

サポートミーティング

⑤イベント等への参加

年 月 日	内　　容	場　　所
27．9.23	第６回ふくしフェスティバルまるがめ	綾歌総合文化会館アイレックス
28．1.31	丸亀市合併１０周年記念事業 まるがめ子育てフェスタ＆まるマルシェ	綾歌総合文化会館アイレックス

２．共同募金助成事業

（１）広報・啓発活動事業

①社協だより「かけはし」の発行

年４回発行の本会広報誌を市内全世帯に配布し、本会の役割・活動内容や福祉情報の広報周知に努めました。

地区コミュニティ福祉部会（地区社協）が取り組んでいる福祉活動の情報提供や、福祉施設、ふれあい・いきいきサロンの取り組み紹介とともに、毎号特集記事を企画し、市民の関心にあわせた紙面づくりに取り組みました。

号数	発行年月日	発行部数	主　な　内　容
35	27．5．1 	47,000	特集　住民座談会開催　地域×ふくしを考える ・平成２７年度の主な事業の取り組み 新規重点事業をご紹介します ・私のまちの福祉情報　（住みたくなるまち土器） ・まちのボランティアさん （瀬戸マジッククラブ綾歌支部） ・福祉施設紹介 （社会福祉法人うぶすな会　うぶすな園） ・地域貢献企業　企業パートナー紹介 （香川ヤクルト販売株式会社） ・共同募金で笑顔の連鎖が生まれています ・ファミリー・サポート・センター ・みんな集まれー！おやこカフェ・おやつ日和 ・オルデからのお知らせ ・善意の窓・ありがとうございます　団体会員 ・平成２７年度　会費のお願い ・祝　丸亀市社協　キャラクター決定
36	27．7．1 	47,000	特集　いつか来る“その時”に備えて 介護保険ってなあに？ ・平成２６年度の事業報告をご紹介します ・私のまちの福祉情報 （郡家校区地域づくり推進協議会） ・こんにちは　ふれあい・いきいきサロン ・福祉施設紹介 （社会福祉法人　丸亀ひまわり保育園） ・地域のチカラで立ち直りを考える（保護司会） ・くらしのお役立ち情報 ・ファミリー・サポート・センター ・みんな集まれー！おやこカフェ・おやつ日和 ・オルデからのお知らせ ・善意の窓・ありがとうございます　団体会員 ・ふくしフェスティバルまるがめ

号数	発行年月日	発行部数	主　な　内　容
37	27.10．1 	46,800	**特集**　**子育てしながら上手に働く** ・丸亀初　市民後見人の誕生 ・『後見センター　まるがめ』にご相談ください！ ・赤い羽根共同募金運動が始まります ・まちのボランティアグループ紹介 （丸亀手話サークル　亀の子会） ・こんにちは　ふれあい・いきいきサロン ・地域貢献企業　企業パートナー紹介 （四国新聞販売店会「四国会」） ・福祉施設紹介 （地域活動支援センター　コスモスの家） ・くらしのお役立ち情報 ・ファミリー・サポート・センター ・みんな集まれー！おやこカフェ・おやつ日和 ・オルデからのお知らせ ・善意の窓・ありがとうございます　団体会員 ・第１１回丸亀市社会福祉大会
38	28．2．1 	47,000	**特集**　**今から見直す！わが家の防災対策** ・まちのボランティアグループ紹介　（げんき会） ・こんにちは　ふれあい・いきいきサロン ・福祉施設紹介　（社会福祉法人　祷友会） ・平成２７年度　見守りネット講演会　第２弾 ・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 ・第５回「赤い羽根募金箱をつくろう」 コンクール受賞者発表！ ・ファミリー・サポート・センター ・みんな集まれー！おやこカフェ・おやつ日和 ・オルデからのお知らせ ・善意の窓・ありがとうございます　団体会員 ・新規事業　福祉車両の貸出をはじめます ・募金百貨店プロジェクト ・テーマ募金スタート

②ホームページ・事務局通信等による情報提供

本会ホームページや事務局通信による情報発信や新聞社、ケーブルテレビなどのマスメディアへの情報発信を行い、本会事業の周知・啓発を行いました。

代表　ホームページアドレス
http://www.marugame-shakyo.or.jp/

しおや保育所　ホームページアドレス
http://marugame-shioya.com/

（２）災害時備品整備事業

本会が指定管理で運営する２ケ所の保健福祉センター（飯山・綾歌）は、災害時の避難所に指定されています。

そのため、大規模災害等における被災者や避難された市民の方への支援物資が届くまでの間の備蓄食料として、アルファ米（850食）、水（500㎖×1,680本）、缶詰（1,200食）を整備しました。

（３）移動販売支援事業（買物支援事業）

香川県の指定を受けた買物支援事業者と契約し、本島・広島地区への移動販売車による食料品・日用品等の販売を実施しました。定期的な実施により、販売だけでなく、高齢者の孤立防止や地域での見守り活動としての事業を進めました。

地　区	開催場所	開催日時
広　島	広島内７自治会指定場所	毎　週　（水）10：30～
広　島	手島港	第1・3　（木）11：00～
本　島	本島内１１自治会指定場所	毎　週　（月）11：20～

手島港（広島）

広島内７自治会指定場所（広島）

（４）特殊詐欺被害防止事業

振り込め詐欺などの特殊詐欺被害が年々増加するなか、被害者の約７割が６５歳以上の高齢者となっています。

そのため、電話がかかってきた時点で自動録音する旨の音声案内が流れ、振り込め詐欺などの被害を未然に防止する「振込め詐欺撃退装置」を２１台購入し、高齢者世帯への取り付けを促進しました。

今後は、家具転倒防止器具設置支援事業と合わせ、８０歳以上の一人暮らし高齢者の方を中心に、装置の取り付けを促進します。

振込め詐欺撃退装置

（５）災害整備事業

今後、発生が危惧される南海トラフ地震や台風等の自然災害に備えた災害資機材等の整備事業を行いました。各地区コミュニティが災害時に必要な物品として希望する資機材（防災倉庫、無線機、発電機等）、備蓄食料等（水、食料）の整備を行いました。

災害用資機材

（６）子ども防災体験プログラム事業

災害時に役立つ知識を楽しみながら身につけられるよう、子ども防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン！」を開催しました。もしもの時、自分に何ができるかを知ることで、子どもたちの防災意識の高揚に努めるとともに、日頃からの助け合いの大切さを学ぶ機会を提供しました。

（単位：名）

年月日	内　　容	参加人数	場　　所
27．9．6	【災害体験ボランティア講座】 第６回ふくしフェスティバルまるがめ 「イザ！カエルキャラバン！inまるがめ」 事前オリエンテーション	35 （学生ｽﾀｯﾌ等）	ひまわりセンター
9.23	【災害体験ボランティア講座】 第６回ふくしフェスティバルまるがめ 「イザ！カエルキャラバン！inまるがめ」 協力　川西地区自主防災会	52 （学生ｽﾀｯﾌ等） 700 （当日参加者）	綾歌総合文化会館 アイレックス

事前オリエンテーション

水消火器で的当て体験

（７）生活困窮者世帯等に対する支援事業

共同募金運動の一環である「歳末たすけあい運動」では、地域住民や募金ボランティア、民生委員児童委員、社会福祉施設等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが､地域で安心して暮らすことができるよう支援するための募金活動を展開しました。

寄せられた募金は、民生委員児童委員、コミュニティ会長のご協力をいただき、支援が必要な方への見舞金や養護学校等の子どもたちへのお年玉助成をはじめとした様々な福祉活動に活用させていただきました。

養護学校等の子どもたちへお年玉助成

３.社会福祉関係団体との連携・支援

（１）共同募金・歳末たすけあい運動の実施

赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい運動は、丸亀市の地域福祉活動を推進するための民間財源として重要な役割を果たしており、募金委員や募金ボランティアを中心とした関係団体に熱心なご協力をいただき、運動を推進しました。

本年度は、市内大型店舗での街頭募金活動を従来の６店舗から１４店舗に増やすことで、募金協力の拡大と運動の啓発に努めました。

市内大型店舗での街頭募金

①会議の開催と参加

連合自治会長､民生委員児童委員地区会長を中心とした募金委員による運営委員会を開催し、共同募金の運営についてご意見をいただくとともに、助成にあたっては審査委員会を開催し、助成内容を精査することで、透明性のある共同募金運動の実施に努めました。

②募金実績額

（単位:円）

募金種別	２６年度			２７年度		
	目標額①	実績額②	目標達成率②÷①(%)	目標額①	実績額②	目標達成率②÷①(%)
一般募金	21,161,000	24,434,914	115.5	24,334,000	24,390,815	100.2
歳末たすけあい募金	6,214,750	5,841,875	94.0	6,188,250	5,755,450	93.0
合計	27,375,750	30,276,789	110.6	30,522,250	30,146,265	98.8

（２）共同募金運動助成事業並びに歳末見舞金給付事業

各団体・施設より申請のあった助成額を審査委員会で厳正に審査し、助成決定された結果を香川県共同募金会へ進達し、助成を行いました。

また、歳末たすけあい運動では、助成基準の見直しを行い、民生委員児童委員、コミュニティの協力のもと、支援が必要な世帯へお渡しするとともに、コミュニティ及び市社会福祉協議会の事業へ助成を行いました。

①地域福祉推進事業（社会福祉協議会助成）　（単位：円）

事業名	金額	事業名	金額
広報活動事業	2,608,326	移動販売支援事業	519,000
災害時備品整備事業	4,509,083	特殊詐欺被害防止事業	195,840
災害備蓄食料整備事業	348,424	子ども防災体験プログラム事業	234,000
		合計	8,414,673

②小地域福祉活動事業（１７地区コミュニティ助成）　（単位：円）

分野	金額
１７地区コミュニティ福祉事業	3,906,000

③地域福祉活動支援事業（福祉団体・ボランティア団体等への助成）　（単位：円）

分野	金額	分野	金額
老人福祉団体	199,000	福祉活動団体	240,000
障害児(者)福祉団体・施設	2,426,000	更生保護団体	159,000
児童・青少年福祉団体	1,215,000	ボランティア・ＮＰＯ活動団体	591,500
母子・父子福祉団体	89,000	その他	171,000
		合計	5,090,500

④広域助成等　（単位：円）

区分	金額
県広域助成	4,233,768
県運動経費	4,599,712
合計	8,833,480

⑤歳末たすけあい募金　（単位：円）

事業名		対象世帯・人数	金額
１．歳末たすけあい見舞金助成		**101世帯・266人**	**1,960,000**
内訳	①地区民生委員児童委員が必要と認める世帯	94世帯・249人	1,760,000
	②地区コミュニティ会長が必要と認める世帯	5世帯・ 15人	120,000
	③児童養護施設亀山学園を退園し就労した者で、３年以内にある一人暮らし世帯	2世帯・ 2人	80,000
２．１７地区コミュニティ		**－**	**1,360,000**

３．社会福祉協議会		**113団体・252人**	**2,356,450**
内訳	①生活困窮者支援事業	―	507,450
	②いきいきサロン整備事業	113団体	975,000
	③養護学校等の子どもたちへお年玉助成 （香川丸亀養護学校207名、児童養護施設亀山学園39名、若者独立塾　丸亀おひさま荘6名）	252人	874,000
合　　計			5,676,450

新規事業 **⑥テーマ募金活動**

テーマ募金は、地域ニーズに基づく様々な地域課題の解決に向け「テーマ」を設定して、従来の共同募金運動期間（１０月～１２月）終了後の１月～３月において、地域課題解決のために設立した募金委員会やＮＰＯ、ボランティア団体等が、自らの活動の必要性を訴えながら、その活動に必要な資金を自ら調達するための募金活動を行うもので、寄せられた募金は全て参加団体の活動資金として助成されます。

平成２７年度は県内で９団体が参加し、丸亀市では下記３団体が参加しました。

団　体　名	使途内容
子どもにやさしいまち丸亀 プロジェクト募金委員会	・保育所、幼稚園、小・中学校への福祉図書の整備 ・丸亀市ファミリー・サポート・センターでの子どもの預かり等の利用料の助成
丸亀市川西地区地域づくり推進協議会	・備蓄食糧の整備（水・缶詰等の購入） ・避難生活用品の整備（毛布等の購入）
ＮＰＯおたすけネットワーククラブ	・異世代交流カフェサロン ・おたすけ事業の広報 ・必要工具の消耗品等の購入

平成 28 年 1 月 19 日　テーマ募金団結式

（３） 民生委員児童委員活動への協力

丸亀市における地域福祉の第一線で活動する丸亀市民生委員児童委員協議会連合会の事務局として、活動の充実に取り組みました。組織体制の強化と会務の充実を図るため、総会・理事会・主任児童委員部会に参加するとともに、平成２８年度全国民生委員児童委員大会（香川大会）開催を控え、準備作業に取り組みました。

また、県外研修に同行し、広島県三原市の子どもに対する見守り支援活動や高齢者等に対する見守り活動についての取り組みについて学びました。

広島県三原市県外研修

主任児童委員研修

（４）福祉ママ会議活動への協力

民生委員児童委員とともに、女性の立場から丸亀市における地域福祉活動を行う丸亀市福祉ママ会議連合会の事務局として、活動の充実に取り組みました。組織体制の強化と会務の充実を図るため、総会・理事会に参加し、お城まつり愛の広場・ふくしフェスティバル・チャリティバザーへの参加や、高齢者・障がい者福祉施設の訪問などに取り組みました。

チャリティーバザー

萬象園訪問

（５）身体障がい者活動への協力及び障がい者団体の活動支援

丸亀市身体障害者福祉連合協会の事務局として、障がい者への理解促進や活動の啓発に取り組みました。

また、丸亀市障害者スポーツ大会への協力や、障がい者団体との連携強化に努めました。

丸亀市障害者スポーツ大会

（６）社会福祉関係団体等との連携強化

①中学生徒弁論大会への協力

丸亀地区保護司会が主催する､｢第６６回丸亀市中学生徒弁論大会｣が６月１０日に開催され､本会から事務局長が審査委員として参加し、上位者へ記念品を授与しました。

重点項目 ４．しおや保育所の安定経営

（１） 通常保育

①在籍児童数の状況

『子ども・子育て支援新制度』が平成２７年４月に施行され、保護者の就労時間等により認定される「保育必要量区分」が新たに定められました。これにより、保育短時間の場合には、低額の保育料で保育を受けることが可能になりました。

保育必要量区分	保育標準時間	保育短時間
保育の最大利用可能時間（1日あたり）	11時間 7：00～18：00	8時間 8：30～16：30
児童数　197名（平成28年3月時点）	177名（89.8%）	20名（10.2%）

認可定員は２２０名ですが、本年度の在籍児童数は、毎月１９５名前後で推移しました。年度当初の０歳児の受入れ児童数は年々増加しており、市内の待機児童対策に貢献しています。また、家庭支援担当保育士を１名配置し、外国籍家庭やひとり親家庭など、家庭の特性に応じた支援を実践しています。

（単位：名）

年　齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	13	13	14	13	13	15	13	14	14	14	14	15
1歳児	26	28	28	29	28	28	28	28	29	29	29	30
2歳児	36	36	36	36	36	36	35	35	35	35	35	35
3歳児	39	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	39
4歳児	38	38	37	37	37	37	38	38	38	38	38	38
5歳児	39	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
合　計	191	195	195	195	194	196	194	195	196	196	196	197

4月1日時点の0歳児受入状況	24年度	25年度	26年度	27年度
	6名	8名	11名	13名

②土曜終日保育の状況

土曜保育の利用児童数は年々増加し、本年度の１回あたり平均利用児童数は、およそ５０名となりました。保育士も増員し、安心・安全な保育の確保に努めていますが、職員の負担が増している状況です。

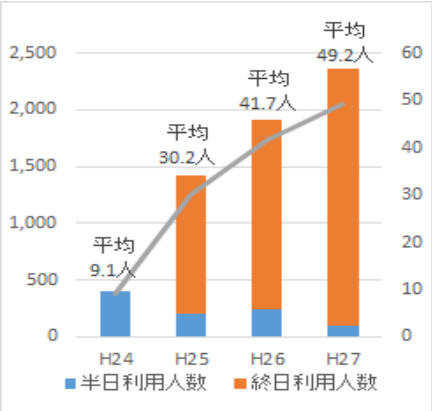
そのため、平成２８年度以降の入所児童を対象に、毎月第２・第４土曜日と日曜行事の前日の土曜日は午前のみの半日保育を実施することを、昨年度の三者懇談会で提案し、保護者への説明を行ってまいりました。

その結果、現在土曜保育を利用している保護者からもご理解いただき、可能な場合には家庭での保育を申し出てくださるケースも増えています。

（単位：名）

利用人数	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
半日	399	202	244	103
終日		1,219	1,674	2,257
合計	399	1,421	1,918	2,360
１日平均	9.1	30.2	41.7	49.2

必要保育士数	2	5～6	7	9



（２）特別保育

①一時預かり事業

一時預かり保育を実施した結果、利用児童数２３名のうち、非定型保育サービスを利用した７名で利用延べ人数の７割以上を占める一方、緊急保育サービスの受け入れが昨年度より大幅に減少するという利用状況でした。今後も保護者の多様なニーズに応じ気軽に利用できるよう、柔軟な受入体制を継続します。

（単位：名）

利用理由／利用時間	〔非定型〕保護者の労働等による断続的な利用	〔緊　急〕保護者の疾病・出産・看護等による一時的な利用	〔私的理由〕保護者の育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するための利用	利用延べ人数
４時間未満	0	6	56	62
４時間以上	286	3	45	334
合　計	286	9	101	396
２６年度	111	40	141	292

②延長保育促進事業

お迎えの時間に間に合わないで困っている保育ニーズに対応するため、延長保育を実施しています。これまで実施していた１８時から１９時までの標準時間の延長保育に加え、今年度から始まった８時３０分から１６時３０分までの短時間保育の利用者に対しても、７時から８時３０分までを前延長、１６時３０分から１８時までを後延長として保育を実施しました。延長保育を利用する子どもたちの気持ちに寄り添い、あたたかく家庭的な保育を心がけるとともに、おにぎりなどの食事の提供を行っています。

（単位：名）

年度	利用区分	利用人数	31分以上利用　延べ人数
２７年度	標準時間	57	338
	短時間（前延長）	7	65
	短時間（後延長）	14	42
	合計	78	445
２６年度	標準時間	45	614

③障がい児保育事業

本年度は４名の加配保育士を配置し、発達障害など特別なニーズを持つ子ども一人ひとりの状態に合わせた保育を実施しました。また、言語聴覚士と臨床心理士が、子どもと定期的（年４回）に面接し、その結果をもとに、担当保育士が保護者と連携して子どもたちを支援していく体制づくりに努めました。

（３）地域活動事業

地域に開かれた社会資源として愛される「しおや保育所」づくりをめざし、園内での様々な行事に地域の方々のご参加をいただきました。

また、子どもたちの田植えや稲刈りの農業体験行事や中高生の保育体験学習、「ふれあい・いきいきサロン」での高齢者との交流など、世代間交流を積極的に実施し、地域との連携強化を図りながら保育を実施しました。

５歳児は、小学校入学後の生活にスムーズに対応できるよう、給食交流会などを通して小学校生活を体験しました。

年月日	行事内容
27.5.11	うちわ作り見学
5.19	サイエンス遊び
6．2	カマタマーレ讃岐 スポーツキャラバン
6．3	いちご摘み（垂水町）
6．7	ふれあい祭り城乾
6.16	地域の方による紙芝居
6.29	田植え（金倉町）
7．6	ひまわり迷路（飯山高校）
7.10	スイミング教室
7.11	納涼の夕べ
7.22	塩屋中いきいきサロン交流

年月日	行事内容
27.8．3 ～7	夏☆ボラ受入 （中高生30名）
8.22	婆娑羅まつりエイサー披露
8.26	ダンボール迷路
10.16	稲刈り（金倉町）
10.23	チャリティバザー
10.25	城坤ふれあい秋まつり
10.30	おじいちゃん・おばあちゃんと遊ぶ会
12.10	カマタマーレ讃岐 スポーツキャラバン
12.15	交通安全キャンペーン

年月日	行事内容
12.16	塩屋中いきいきサロン交流
28.1．7	大根ぬき（飯山町）
1.13	社会見学
1.26	けろっと劇団人形劇
1.28	サイエンス遊び
1.29	もちつき
2.16	給食交流会（城坤小4年生）
2.26	お茶会
3．6	ふれあい城坤春まつり

年2回のいきいきサロンでの交流

地域の産業、うちわ作りを見学

城坤小学校で、お兄さん
お姉さんたちと遊んだよ。

藤井中学校生の保育体験や
夏☆ボラなど、
幅広い世代との交流。

地域のお祭りでエイサーを披露。
子どもたちの自信につながっています。

（４）研修会の実施・参加による職員の資質向上・人材育成

全職員を対象とした研修会を７回実施したほか、専門研修会４４回に積極的に参加するなど職員一人ひとりの人材育成や組織としての保育力、専門性の向上に努めました。

中でも、臨床心理士や言語聴覚士の先生を招いての事例検討は、いただいたアドバイスを日常の保育の中で子どもたちや保護者への対応に活かし、保育内容の向上とともに職員の対応力強化につながっています。

保育所開所以降４年にわたって職員の資質向上・人材育成に取り組んできた成果として、平成２８年度には正規職員が所長に昇格することとなりました。また、主任保育士の募集をしたところ、意欲のある職員から応募があり、面談の結果２名を主任保育士として昇格しました。

年月日	研修内容・講師
27．5.21 8.27	「ちょっと気になる子どもの行動から学ぶ　～事例をもとに話し合う～」 講師　　元香川大学教育学部教授　臨床心理士　小柳　晴生　氏
6.29 6.30	まちづくり出前講座「応急手当（人工呼吸など）について」 講師　　丸亀市消防本部
7．9 10.22	「子どもの発達を支えるために　～事例をもとに～」 講師　　元九州保健福祉大学教授　言語聴覚士　笠井　新一郎　氏
8.31	「災害時に備えて」 講師　　丸亀市危機管理課　防災アドバイザー　鳥生　幹雄　氏
9.25	「人権保育を進めていく中で大切にしたいこと」 講師　　香川人権研究所　事務局長　喜岡　淳　氏

研修参加回数	県内研修　41 回	県外研修　3 回
研　修　内　容	新任保育士研修会 食育推進研修会 母子保健指導者研修会 児童虐待対応研修会　　他	全国保育士会研究大会 保育者のための実技講習会 〇保育マインドと表現力の向上 〇防災・防犯の知識と実技

（５）二者懇談会の開催

これまで、保護者会・社協・丸亀市の三者で行ってきた懇談会を、本年度からは保護者会・社協の『二者懇談会』と改め、必要な場合には丸亀市や関係機関にも参加していただく形で継続していくこととなりました。

保護者への事前アンケートの中から質問のあった「防災対策」と「体力アップへの取組」について、説明を行うとともに、全保護者へも議事録として配布いたしました。

今後も保護者との意見交換を積極的に行って保育所運営に反映し、保育環境をより一層充実できるよう、連携強化を図ります。

年 月 日	主　な　協　議　内　容	
28．3.16	平成２７年度 二者懇談会	・二者懇談会会則の制定について ・防災対策　しおや保育所（社協）としての方針 ・子どもの体力アップへの取組について ・土曜保育について ・新年度体制（児童数・職員体制）について　　他

＜防災対策＞

南海トラフ地震の津波による浸水深の予測は0.3m～1m。原則として園舎２階へ避難します。

丸亀市ＰＴＡ連絡協議会情報配信システムを利用し、正確な情報を迅速に、保護者に提供します。

全職員が毎年、丸亀市消防本部の応急手当講習を受講しています。

＜体力アップへの取組＞

遊びの中で楽しく体を動かしながら、バランスの良い体力づくりをめざしています。

（6）福祉サービス苦情解決事業

保護者の困りごとの解決に積極的に取り組み、保育サービスの質の向上を図るため、「第三者委員」と「苦情解決担当者」を定め、周知しています。

受付体制

名　称	担当者
苦情解決総括責任者	事務局長
苦情解決責任者	所長
苦情受付担当者	副所長２名

委員会・研修会

年月日	内　容
27．9．9	苦情解決第三者委員会
28．2.17	福祉サービス苦情解決事業研修会

重点項目 ５．介護サービス事業の安定経営

重点項目 （１）介護保険制度改革に向けての第三次中期３ヶ年計画策定

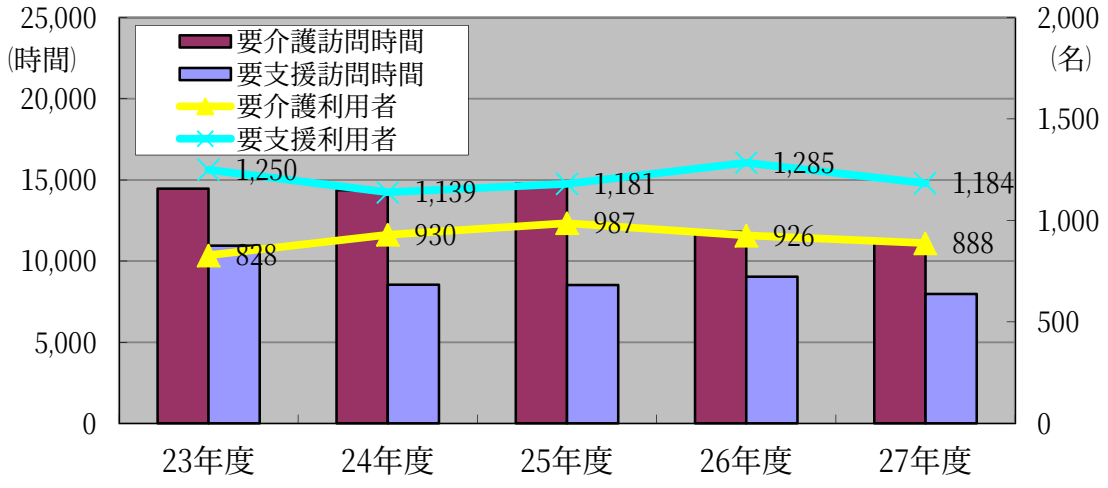
平成２７年度介護報酬改正により各事業の基本報酬が大幅減となるなか、サービス提供時間の目標数値を定めるなど、安定経営に向けた取り組みを行いました。居宅介護支援事業は、特定事業所加算体制を継続したことにより安定収益を確保しましたが、多くの事業で利用者減となり、厳しい経営となりました。

①指定訪問介護・介護予防訪問介護事業（ホームヘルパー）

訪問介護員（ホームヘルパー）を自宅に派遣し、食事・入浴・排泄等の身体介護や調理・掃除・買物等の生活援助を提供しました。独居の方の新規利用時には民生委員児童委員や近隣者との連携に努めました。

利用状況　　（単位：名／時間）

区分＼年度		２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度
実利用者延べ数	要介護	828	930	987	926	888
	要支援	1,250	1,139	1,181	1,285	1,184
合　計		2,078	2,069	2,168	2,211	2,072
ｻｰﾋﾞｽ提供延べ時間	要介護	14,451.5	14,354.7	14,778.2	11,794.2	11,201.0
	要支援	10,955.0	8,540.1	8,519.0	9,042.8	7,970.5
合　計		25,406.5	22,894.8	23,297.2	20,837.0	19,171.5

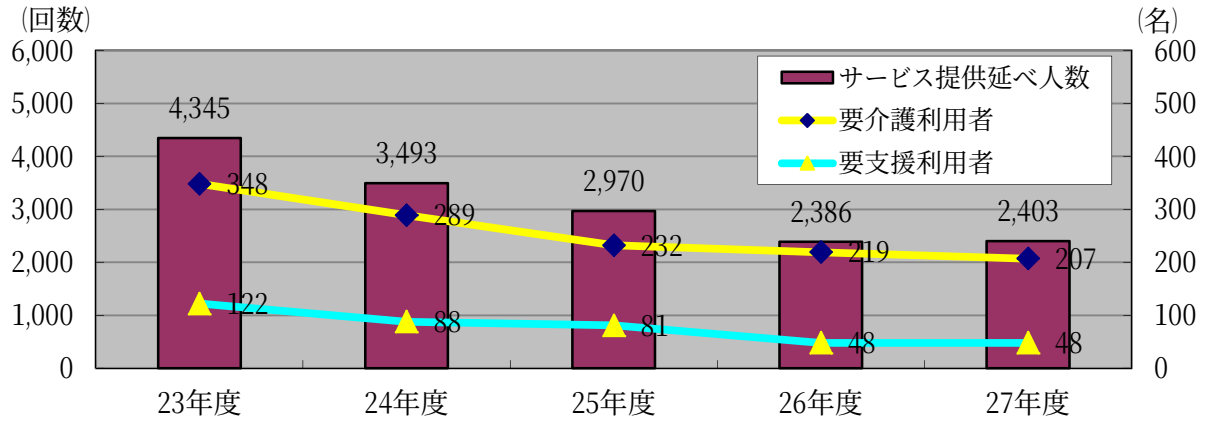


②指定通所介護・介護予防通所介護事業（デイサービス）

はんざんデイサービスセンターまで利用者を送迎し、入浴介助・食事介助・音楽療法・レクリエーション等を行いました。少人数でアットホームな雰囲気の中、個々の利用者ニーズに寄り添った支援を行いました。また、近隣の中学校や高校、大学の学生ボランティアを積極的に受け入れ、異世代間の交流を図りました。

利用状況　　（単位：名／回）

区分＼年度		２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度
実利用者延べ数	要介護	348	289	232	219	207
	要支援	122	88	81	48	48
合　計		470	377	313	267	255
ｻｰﾋﾞｽ提供延べ回数		4,345	3,493	2,970	2,386	2,403

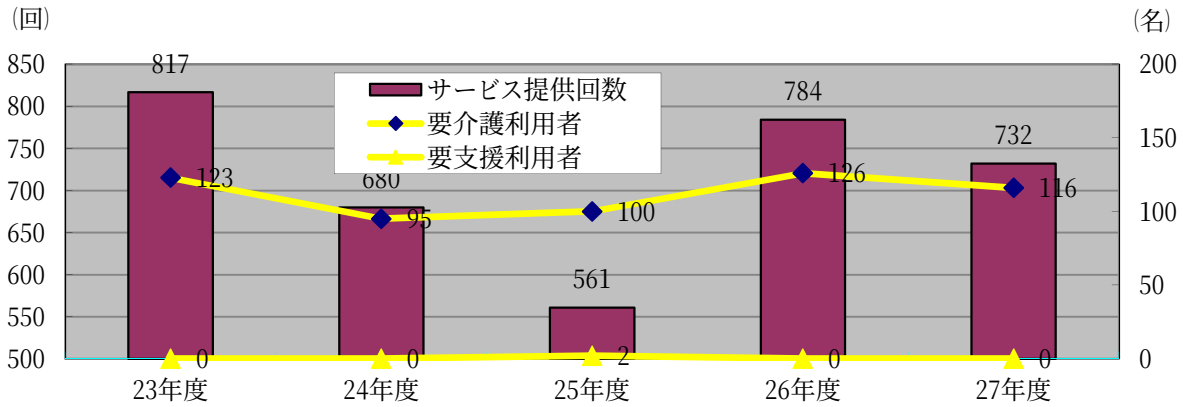


③指定訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護事業（入浴車による家庭入浴）

訪問入浴車で巡回し、利用者宅内での入浴サービスを提供することで、身体の清潔保持とともに、気分転換が図れるよう言葉や態度などによるコミュニケーションに努めました。
本年度は訪問入浴車を買い替え、新しい浴槽設備で入浴サービスを提供しました。

利用状況　　（単位：名／回）

区分＼年度		２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度
実利用者延べ数	要介護	123	95	98	126	116
	要支援			2		
合　計		123	95	100	126	116
ｻｰﾋﾞｽ提供延べ回数		817	680	561	784	732

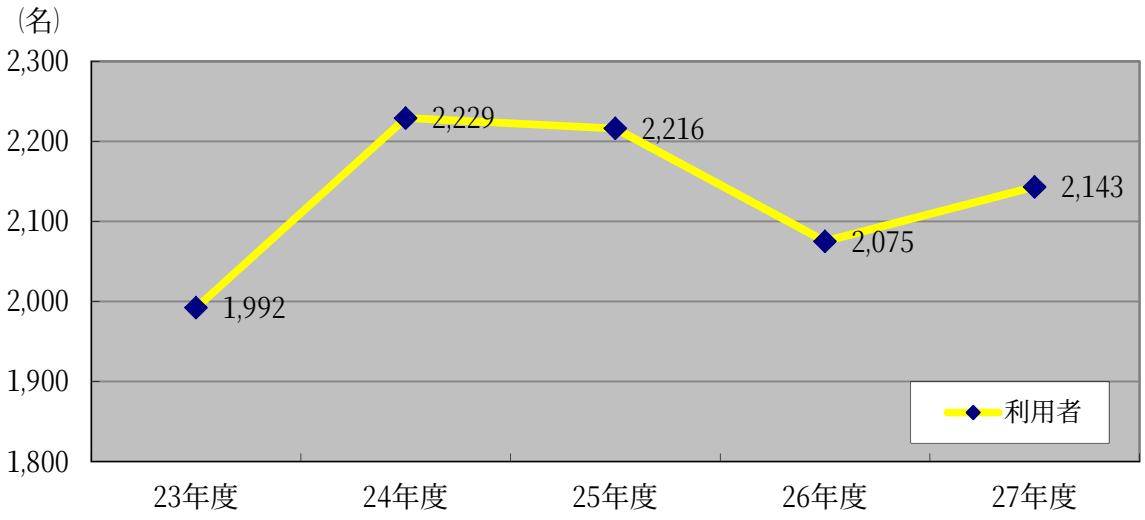


④指定居宅介護支援事業（ケアマネジャー）

日常生活における相談に対し助言を行い、介護サービス計画（ケアプラン）を作成しました。介護保険サービスのみに留まらず、地域資源を活かした生活を中心に捉えたプラン作成に取り組みました。

利用状況　（単位：名）

区　分＼年　度	２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度
実利用者延べ数	1,992	2,229	2,216	2,075	2,143
職員1名あたりの担当数	24.6	23.2	25.8	28.8	29.8



⑤介護予防支援事業（介護予防ケアマネジャー）

要支援者の介護サービス計画（ケアプラン）の作成を行いました。また、地域包括支援センターが実施する会議等に参加し、地域における在宅福祉の強化に努めました。

利用状況　（単位：名）

区　分＼年　度	２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度
実利用者延べ数	433	433	468	427	384

訪問介護事業

訪問入浴介護事業

通所介護事業

（２）ホームヘルプサービス事業

丸亀市より高齢者・障がい児（者）・子育ての事業を受託し、サービス提供を行いました。

地域で自立した生活が維持できるよう、介護予防の観点を重視した生活援助サービスに努めました。

①老人ホームヘルプサービス事業

介護保険の対象とならない一人暮らし高齢者等に対し安定した自立生活が送れるよう、家事援助サービス・生活指導等を実施しました。

ア．　軽度生活援助事業利用状況　　（単位：名／回）

区　分＼年　度	２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度
実利用者延べ数	384	450	345	298	315
ｻｰﾋﾞｽ提供延べ回数	2,094	2,306	1,749	1,552	1,530

イ． 生活管理指導員派遣事業利用状況　（単位：名／回）

区　分＼年　度	２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度
実利用者延べ数	56	82	148	136	102
ｻｰﾋﾞｽ提供延べ回数	372	415	700	627	493

②子育てホームヘルプサービス事業

一時的に育児援助や家事援助等を必要とする児童（０歳児から小学３年生）を養育している世帯に、育児負担の軽減を図るため、ホームヘルパーを派遣しました。

利用状況　（単位：名／時間）

区　分＼年　度	２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度
実利用者延べ数	1		3	6	2
ｻｰﾋﾞｽ提供延べ時間	25		89	159	32.5

③介護保険外訪問介護サービス事業

介護保険制度では適用されない、生活上の困りごとの支援サービスを提供しました。介護保険サービスと併用することで、安定した地域生活が継続できるよう援助を行いました。

利用状況　（単位：名／時間）

区　分＼年　度	２４年度 (※3ヶ月分)	２５年度	２６年度	２７年度
実利用者延べ数	6	102	81	86
ｻｰﾋﾞｽ提供延べ時間	9.0	398.0	180.5	188.1

（３）障害福祉サービス事業

障がい者や難病患者等が、地域や居宅において安心して自立した日常生活を営むことができるよう、訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣して、身体介護・家事援助・外出介護等のサービスを行いました。

①居宅介護事業（障がい者ホームヘルパー）

利用状況　（単位：名／時間）

区　分＼年　度	２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度
実利用者延べ数	299	274	280	263	270
ｻｰﾋﾞｽ提供延べ時間	4,855.5	4,531.5	4,309.3	4,087.5	3,967.5

②重度訪問介護事業（障がい者ホームヘルパー）

利用状況　（単位：名／時間）

区分＼年度	２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度
実利用者延べ数	24	24	13	18	12
ｻｰﾋﾞｽ提供延べ時間	2,064.5	1,993.0	405.5	324.5	266.5

③同行援護事業（視覚障がい者ガイドヘルパー）

利用状況　（単位：名／時間）

区分＼年度	２４年度(※10ヶ月分)	２５年度	２６年度	２７年度
実利用者延べ数	35	61	71	79
ｻｰﾋﾞｽ提供延べ時間	511.5	804.0	832.5	734.0

④移動支援事業（ガイドヘルパー）

利用状況　（単位：名／時間）

区分＼年度	２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度
実利用者延べ数	99	86	91	50	44
ｻｰﾋﾞｽ提供延べ時間	783.0	391.0	216.0	191.5	325.5

重点項目 **（４）研修会の実施・参加**

行政や関係機関等が実施する外部での会議や研修会に、本年度は延べ９４回１６１名の職員が参加しました。また、外部講師による事業所内研修を実施し、延べ７回１７３名の職員が参加しました。

（５）福祉サービス苦情解決事業

介護サービスに関する苦情や要望について、利用者等の立場や環境に十分配慮し、誠意をもって対応しました。

本年度は、ヘルパーの援助内容等に関する４件の苦情を受けましたが、いずれも早期に対処することで解決し、苦情解決第三者委員会への相談事例はありませんでした。

また、透明性のある事業運営のため、苦情解決第三者委員会を開催し、相談受付状況を報告しました。

６．指定管理施設（丸亀市保健福祉センター事業）の運営

平成２６年度から３年間、ひまわりセンター・綾歌保健福祉センター・飯山総合保健福祉センターの指定管理を行っています。

センターの管理運営を実施するに当たっては、管理施設の利用状況や収支状況・利用者からの要望や苦情及びその改善状況を報告するなど、市が実施するモニタリング調査に協力し、良好な管理運営を確保するとともに、指定管理者として工夫しながら、センターの利用者に対する利便性・サービスの向上及び施設稼働率の向上や管理経費の縮減のための業務改善に努めました。

また、本会が管理運営する施設は、高齢者や障がい者・子ども等のみならず、福祉団体のグループ活動などあらゆる人々が集い利用する場所であることから、施設を利用する人の安全を脅かす地震や台風などの自然災害や火災・不審者侵入・感染症による健康被害の発生に備え、「誰もが利用しやすい安心で安全な施設にする」ことを目標に、防災設備の維持管理や避難訓練の実施など、適切な危機管理体制の確立に努めました。

（１）丸亀市保健福祉センター事業

①丸亀市保健福祉センター（ひまわりセンター）利用状況

（単位：名）

会場＼年度		２５年度 延べ人数	２６年度 延べ人数	２７年度 延べ人数
１階	機能訓練室	7,479	9,313	8,209
	ヘルストロン	5,962	7,730	7,242
合　　計		13,441	17,043	15,451

（単位：名／件）

会場＼年度		２５年度		２６年度		２７年度	
		延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数
３階	会議室１	7,159	348	6,718	363	6,302	336
	調理室	3,192	117	3,079	141	3,034	139
４階	会議室２	8,209	409	7,448	404	6,866	426
	会議室３	5,584	337	5,633	360	5,653	371
	会議室４	4,705	283	5,150	354	4,399	369
	研修会議室１・２	19,185	250	19,379	263	19,769	345
	研修会議室３	10,232	235	10,595	301	8,902	294
合　　計		58,266	1,979	58,002	2,186	54,925	2,280

②丸亀市綾歌保健福祉センター利用状況

（単位:名）

会場＼年度		２５年度 延べ人数	２６年度 延べ人数	２７年度 延べ人数
２階	プレイルーム	2,217	2,161	1,911

（単位：名／件）

会場＼年度		２５年度		２６年度		２７年度	
		延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数
１階	会議室	1,385	90	1,315	85	923	72
	相談室１	184	36	117	27	155	43
	相談室２	76	21	39	14	37	13
２階	研修室（和室）	774	63	652	45	594	47
	相談室３	139	17	150	20	375	32
	調理実習室	1,103	72	979	72	1,129	72
	栄養研修室	1,152	72	1,039	72	1,127	68
合　　計		4,813	371	4,291	335	4,340	347

③丸亀市飯山総合保健福祉センター利用状況

（単位：名）

会場＼年度		２５年度 延べ人数	２６年度 延べ人数	２７年度 延べ人数
１階	プレイルーム	1,353	1,554	1,208

（単位:名／件）

会場＼年度		２５年度		２６年度		２７年度	
		延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数
１階	相談室１	23	6	16	6	9	6
	相談室２	45	14	22	8	11	7
２階	会議研修室１・２	3,551	140	4,485	135	5,032	142
	調理実習室	1,786	73	1,854	90	1,619	81
	栄養指導室	2,543	111	2,528	122	2,450	119
合　　計		7,948	344	8,905	361	9,121	355

（単位：名）

会場＼年度		２５年度 延べ人数	２６年度 延べ人数	２７年度 延べ人数
２階	老人健康施設	74,392	77,116	78,323

ひまわりセンターは、平成１１年１１月竣工（１６年経過)、綾歌保健福祉センターは、平成１４年１０月竣工（１３年経過)、飯山総合保健福祉センターは、平成１２年３月竣工（１６年経過）で、経年劣化による修繕や危険のある場所は、安全を最優先に改善を図りました。

【ひまわりセンター】

ひまわりセンター１階部分の窓は設置位置が低いため、駐車場から万が一、車両が衝突した際にガラスの飛散による危険を防護するため、バリケードアーチを設置しました。

【飯山総合保健福祉センター】

浴室天井材の脱落があったため、補強・改善工事を実施しましたが、経年劣化が著しく、市健康課（市建築課）と調整し、平成２８年度には、浴室全体の天井更新工事が実施されます。

７.収益事業による財源確保

(１) 自動販売機による財源確保

社会福祉事業に必要な財源を確保するため、本会が管理する建物等に飲料自動販売機を設置しています。

（単位：円）

設置場所	２６年度収入額	２７年度	
		収入額	設置台数
ボートレースまるがめ	3,058,455	2,904,481	9 台
指定管理施設			
ひまわりセンター	867,476	703,891	5 台
綾歌保健福祉センター	43,127	44,741	1 台
飯山総合保健福祉センター	242,851	204,594	3 台
※綾歌健康づくりふれあいセンター	526,005	1,716	0 台
市役所庁舎等			
市役所別館	102,567	93,482	1 台
消防署	95,074	88,498	1 台
市民広場	317,793	874,940	3 台
丸亀城	65,585	147,668	1 台
計	5,318,933	5,064,011	24 台

※　綾歌健康づくりふれあいセンターは、平成２６年度の指定管理期間中に自動販売機設置契約業者から差異が生じたものとして、差額を徴収しました。

《概説》

平成２７年度は、自動販売機の設置契約業者を一部見直しました。

また、４，０００，０００円を一般会計に繰り出し、地域福祉を推進するための活動費として活用しました。

重点項目 8．経営体制の強化

重点項目 （1）活性化した組織づくり

本会の今後の活動の方向性を見据えながら、本会事業・財政の適正執行並びに組織運営の強化に向け、以下の内容に取り組みました。

①適正な業務執行体制の確立

理事会、評議員会を開催し、業務及び経営状況に関する議案の承認を得ました。
また、リーダー会議、課内会議、テーマ別チームプロジェクト会議を開催し、適正な事業執行体制と内部統制機能の強化を図りました。

【理事会・評議員会】

会 議 名	年 月 日	出席者	付　　議　　事　　項
理 事 会	27．5.26	12	・平成26年度事業報告・決算について ・平成27年度収支補正予算（案）について ・新規事業の実施について ・定款の一部変更について ・諸規定案件　3件 ・人事案件　1件　・報告事項　2件
	6．1	11	・人事案件　5件
	12.22	12	・平成27年度補正予算書について ・新規事業の実施について ・車両の廃車について ・人事案件　1件 ・諸規定案件　4件　・報告事項　5件
	28．3.22	11	・平成28年度事業計画（案）について ・平成28年度予算（案）について ・平成27年度補正予算について ・車両の廃車について ・人事案件　2件　・諸規定案件　4件 ・報告事項　2件
評議員会	27．5.26	19	・平成26年度事業報告・決算について ・平成27年度収支補正予算（案）について ・新規事業の実施について ・定款の一部変更について ・人事案件　1件　・報告事項　2件
	12.22	21	・平成27年度補正予算書について ・新規事業の実施について ・報告事項　5件
	28．3.22	23	・平成27年度補正予算について ・平成28年度事業計画について ・平成28年度収支予算について ・報告事項　1件

②苦情解決システムの強化

利用者個人が権利を擁護され、福祉サービスを適切に利用するためには、本会が苦情への適切な対応を行い、福祉サービスに対する利用者の満足感を高め、早急な対応策を講じることが大切です。苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めるため、新たな「苦情解決事業運営規程」を制定し、組織全体を総括した苦情解決体制の見直しを行いました。

③テーマ別チームプロジェクトの推進

《広報啓発プロジェクト》

年 月 日	研修及び活動内容	場　所
27．6．5	広報研修　出前講座『効果的な広報写真の撮り方』	丸亀市
28．2.18	パンフレット・チラシ・WEBを活用した売上アップセミナー	高松市

《地域福祉活動計画策定準備プロジェクト》

年 月 日	研　　修　　内　　容	場　所
27．4.23	今後の日程・第二回目住民座談会の進め方について	丸亀市
5.14	第二回目住民座談会の進め方について	丸亀市
6.11	第二回目住民座談会の進め方について	丸亀市
7．9	座談会の状況・今後の作業工程について	丸亀市
9.10	計画素案の検討・今後のスケジュールについて	丸亀市
9.15	計画素案の検討・今後のスケジュールについて	丸亀市
11．2	計画素案の検討について	丸亀市
11．4	計画素案の検討について	丸亀市
11．6	計画素案の検討について	丸亀市
11．9	計画素案の検討について	丸亀市
11.12	計画素案の検討・数値目標について	丸亀市
11.16	計画素案の検討・数値目標について	丸亀市
12．1	計画素案の検討・数値目標について	丸亀市
28．1.21	資料編の検討・名称案について	丸亀市

《徘徊ＳＯＳネットワーク事業準備プロジェクト》

年 月 日	研修及び活動内容	場　所
27．5.29	平成２７年度　第１回キャラバン・メイト連絡会	丸亀市
6.26	認知症サポーター養成講座	丸亀市
7.23	ＳＯＳネットワーク打ち合わせ	丸亀市
9.16	平成２７年度認知症高齢者行方不明等対策研修会	高松市
10.16	平成２７年度　第２回キャラバン・メイト連絡会	丸亀市
11．5	認知症ケアに関する多職種連携のための研修会	丸亀市
11.13	平成２７年度模擬訓練とふりかえりの会	善通寺市
28．2.25	平成２７年度若年性認知症支援セミナー	高松市

SOSネットワーク徘徊模擬訓練（H27.11.13　善通寺市内）

④地区担当制の活動強化とコミュニティソーシャルワーク（ＣＳＷ）研修等の実施

地区担当職員には、各コミュニティの特性や実情に合わせた支援を地域住民や関係機関・団体等と一緒に推進する力が求められています。そのため、本年度は地区担当制を見直し、事務局長総括のもと、各地区副総括２名、地区担当１名、介護担当１名の４名体制としました。

また、コミュニティソーシャルワーク技能の向上を目指すため、ＣＳＷ研修等の受講を推進するとともに、香川おもいやりネットワーク事業と合わせた担当者の養成に取り組みました。

〔ＣＳＷ研修会〕

年月日	研　修　内　容	場　所
27．5.17	日本地域福祉研究所公開研究会及び通常総会	東京都
6.13	香川ＣＳＷ実践研究会総会・研修会	高松市
7.11～12	地域福祉(コミュニティソーシャルワーク)実践者養成研修	高松市
8．1～2	平成２７年度　第１３回四国地域福祉実践セミナーin徳島・阿波市 平成２７年度　第１９回こんぴら地域福祉セミナー	阿波市
9．8	ファシリテーター研修会	高松市
10．3	香川ＣＳＷ実践研究会中讃ブロック研修会	綾川町
10.18～19	第３回町内・集落福祉全国サミットin鳥取	鳥取県
28．1.13	香川県内社会福祉協議会実践研究大会	高松市
2.22～23	平成２７年度　第２期香川おもいやりネットワーク事業担当者養成研修（コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修）	高松市

⑤地域福祉実践研究セミナーの開催

今後の豊かな地域福祉実践を展開することを目的とした、第２１回地域福祉実践研究セミナーを日本地域福祉研究所との共催により、香川中讃圏域（丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町）で開催しました。

「地域福祉の新たなステージに向けて－香川発！地域トータルケアシステムの構築－」を全体テーマに、地域トータルケアシステムの構築に向けて、民生委員児童委員をはじめとする住民や社会福祉施設、社会福祉協議会がどのように協働し、どう地域づくりを行うかなど、地域福祉実践について議論を深めました。

全国各地や香川中讃圏域から約４５０名のご参加をいただき､盛会のうちに幕を閉じました。

〔第２１回地域福祉実践研究セミナーin 香川・中讃〕

年 月 日	研　　修　　内　　容	場　所
27．4．8	作業部会（第１回）	坂出市
5.14	作業部会（第２回）	琴平町
6.10	第４回実行委員会	高松市
6.18	作業部会（第３回）	綾川町
7.23	作業部会（第４回）	善通寺市
8．6	第５回実行委員会・作業部会（第５回）	丸亀市
8.24	作業部会（第６回）	坂出市
8.27～29	第２１回地域福祉実践研究セミナーin香川・中讃	中讃地域
9.25	第６回実行委員会	高松市

重点項目（２）職場の環境づくりと人材育成

①働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

福祉・介護・保育現場では、人材の育成と同時に職場への定着の促進も重要な課題となっています。働きやすくやりがいを感じられる職場づくりを推進するため、以下のことに取り組みました。

（ア）有期雇用職員等からの正規転換と派遣労働者の採用

保育や介護の現場では、まだまだ加速する人材不足に備え、優秀な人材を確保することが重要な課題となっています。雇用の安定と事業の継続に向けて、幅広い人材資源を正規雇用職員へ転換できるような仕組みをつくりました。

（イ）仕事と家庭の両立支援

子育てや在宅介護の負担を軽減し、仕事と両立できる環境づくりを目指して、「子の看護休暇」、「介護休暇」を取得しやすくするため、就業規則を改正しました。

（ウ）ストレスチェック制度実施規程の策定

労働者の職場改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることによって労働者がメンタルヘルス不調となることを未然に防止するシステムをつくりました。

（エ）６０歳定年後の継続雇用

職員がモチベーションを維持し、定年後のライフプランを描きやすくするため、能力や経験に応じて働き続けられるよう職場環境を整備しました。

②人材育成

（ア）職員研修要綱の策定

本会が住民から信頼され必要とされるためには、職員一人ひとりが常に法人の使命・経営理念・運営方針を理解し、自らの仕事に高い専門知識と見識を持つことが大切です。

地域福祉の担い手としてふさわしい誇りある仕事ができる人材を育成するため、人材育成のあり方を検討するとともに、中・長期的な経営方針やビジョンに対応して職員を育て、職員が育つ活力ある職場づくりを目指して「職員研修要綱」を策定しました。

更にキャリア形成を促し、職員に職場研修の全体像をわかりやすく周知するため、職位ごとに必要とされる能力を明示した、研修体系を作成しました。

（イ）役職員研修の推進

〔役職員研修〕

年月日	研　修　内　容	場　所
27．5．1	平成２７年度第１回香川県県内社会福祉協議会理事会・情報交換会	高松市
7．9	地域福祉推進委員会部会（総務・地域福祉部会合同）	高松市
7.14	県内社協事務局長セミナー	高松市
10.25	県内社協地域福祉推進委員会地域福祉部会研修会	高松市
11．2	平成２７年度第２回地域福祉推進委員会部会	高松市
11．5～ 6	平成２７年度（第２回）県内社協常務理事・事務局長セミナー	土庄町
11.11～12	平成２７年度四国ブロック別市町村社会福祉協議会研究協議会	高松市
12.16	平成２７年度第３回地域福祉推進委員会（総務・地域福祉部会合同）	高松市
28．2．4	平成２７年度地域福祉フォーラム	高松市
2.12	平成２７年度市町社会福祉協議会常務理事・事務局長会議	高松町
3.18	平成２７年度第４回地域福祉推進委員会地域福祉部会	高松市

〔職員基礎研修〕

年月日	研　修　内　容	場　所
27．4.17	平成２７年度「社協職員基礎研修」	高松市
6．6～11	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング	神奈川県
7.13～18	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング	神奈川県
9.29	平成２７年度県内社協中堅職員研修	高松市
10.26	人権課題別講演会	丸亀市
11.25	平成２７年度苦情担当者（高齢者分野）研修会	高松市
12．2	人権問題研修講演会	丸亀市
28．3．1	社会福祉施設等採用内定者研修会	高松市

〔専門研修(総務)〕

年月日	研　修　内　容	場　所
27. 4.17	平成２７年度「福祉人材・採用力UPセミナー」	高松市
6.17	算定基礎届事務講習会	坂出市
7.16～17	中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会総会及び研修会	鳥取県
7.27	社会福祉法人の内部統制セミナー	高松市
8.11	人事労務管理セミナー	高松市
8.11	平成２７年度メンタルヘルス講習会～ストレスマネジメント～	愛媛県
9. 3	マイナンバー法への実践対応！ファイナル！！	高松市
9. 9	全国労働衛生週間説明会	丸亀市
9.14	労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度 取組みのポイントと職場の安全配慮義務について	高松市
10.14	マイナンバー研修会	丸亀市
10.16	労働者派遣法改正法説明会	高松市
10.16	「キャリアアップ助成金」説明会	高松市
10.17	社会保険労務士から学ぶ ―相談支援において知っておきたい10のポイント―	高松市
10.20	事業場におけるストレスチェック制度実施のための研修会	丸亀市
10.20	労働法改正の実務対応セミナー	高松市
11.12	女性活躍推進セミナー	高松市
11.12	「フロン排出制御法」説明会	高松市
11.16 11.20	平成２７年分年末調整説明会	丸亀市
11.18	平成２７年度第２回人事労務管理セミナー	高松市
11.18～19	平成２７年度第２回職業能力開発推進者講習	高松市
12. 7	平成２７年度第２回「省エネルギー講座」（事業所向け）	高松市
12.11	応研マイナンバー収集・保管サービス無料説明会	高松市
12.18	平成２７年度退職手当共済制度実務研修	高松市
28. 1.20	事業場におけるストレスチェック制度実施のための研修会	高松市
2. 5	保育所経営セミナー	大阪府
2.24	社会福祉法人制度改革対応セミナー	高松市
2.26	平成２７年度公正採用選考人権啓発推進員研修会	丸亀市
3.15	障害者雇用納付金制度事務説明会	丸亀市

〔専門研修(地域福祉)〕

①生活困窮者自立支援事業関連

年月日	研　修　内　容	場　所
27.4.21	第１回生活困窮者自立支援事業に関する市町社協担当者会	高松市
4.27	相談業務（生活福祉資金・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業）担当者合同研修会	高松市
5.24	ＮＰＯ法人ＫＨＪ香川県オリーブの会定例会	高松市
5.25	アディクション相談会	高松市

年月日	研　修　内　容	場　所
5.27	丸亀地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	丸亀市
5.29	第１回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	丸亀市
6.15	生活保護受給者等就労支援協議会	坂出市
7.27	アディクション相談会	高松市
9.28	アディクション相談会	高松市
10．7	生活困窮者自立支援事業に関わる伝達研修	高松市
10.30	依存症の家族教室	丸亀市
11.27	第３回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	丸亀市
11.30	アディクション相談会	高松市
12．7～ 9	生活困窮者自立相談支援事業 主任相談支援員スキルアップ研修（前期）	東京都
12．9～11	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 就労支援員養成研修（後期）	神奈川県
28．1.25	平成２７年度福祉教育セミナー	高松市
1.25	アディクション相談会	高松市
2.17	生活困窮者自立相談支援事業に係る伝達研修会	高松市
2.17	障害者雇用連絡会議	丸亀市
2.18	アディクション関連問題研修会	高松市
2.19	第４回中讃圏域精神保健福祉関係ネットワーク会議	丸亀市
2.23	障害者雇用連絡会議	坂出市
3.15～16	生活困窮者自立相談支援事業 主任相談支援員スキルアップ研修（後期）	東京都

②香川おもいやりネットワーク関連

年月日	研　修　内　容	場　所
27．4.21	香川おもいやりネットワーク事業説明会・担当者会	高松市
6.10	香川おもいやりネットワーク事業相談・支援担当者養成研修	高松市
6.23	香川おもいやりネットワーク事業相談・支援担当者養成研修	高松市
28．2.19	平成２７年度香川おもいやりネットワーク事業実践総括セミナー	高松市

③日常生活自立支援事業関連

年月日	研　修　内　容	場　所
27．6.18	権利擁護に関する勉強会	高松市
7．8	対人援助研修会	高松市
10.13	社会福祉協議会における権利擁護に関する意見交換会	高松市
11．9	平成２７年度相談事業に関する研修会	高松市
12．2	精神保健福祉関係者研修会	丸亀市
12.19	２０１５年度地域生活支援関係職員研修会	丸亀市
28．2.29	日常生活自立支援事業生活支援員等ブロック別研修会	丸亀市
3．4	精神保健福祉業務従事者研修	高松市

④法人後見事業関連

年月日	研　修　内　容	場　所
27．5.20	高齢者虐待防止等実務者会議	丸亀市
5.27	市民後見人登録者フォローアップ研修	丸亀市
9．4	市民後見人育成への取り組み	愛媛県
28．2．2	成年後見制度基礎講座	丸亀市
2．6	成年後見制度研修会	高松市
2.11	市民後見人・成年後見制度啓発シンポジウム	大阪府
3．8	成年後見制度人材養成研修会	高松市
3.16	権利擁護人材育成事業　市民後見推進自治体研修会	東京都
3.16	高齢者虐待防止等実務者会議	丸亀市

⑤ボランティアセンター事業関連

年月日	研　修　内　容	場　所
27．6.16	コーディネート力向上研修会	高松市
28．1.28	平成２７年度第３回災害ボランティアセンター運営者研修	高松市

⑥ファミリー・サポート・センター事業関連

年月日	研　修　内　容	場　所
27.10．1	平成２７年度ファミリー・サポート・センター ネットワーク事業全国講習会	大阪府
10.30	平成２７年度リスクマネジメント実践セミナー ファミリー・サポート・センターにおけるリスクマネジメントの実践	大阪府

⑦共同募金関連

年月日	研　修　内　容	場　所
27．4.16	平成２７年度テーマ募金に関する研修会	高松市
5.15	共同募金プロジェクト会議	高松市
6.22	第９回香川県共同募金運動推進プロジェクト会議	高松市
8．4	平成２７年度共同募金従事者研修会	高松市
11.17	平成２７年度第２回テーマ募金参加団体連絡会	高松市

⑧その他

年月日	研　修　内　容	場　所
27．6.12	第４６回中国・四国地区救護施設研究協議大会	丸亀市
7.31～8．1	丸亀市民生児童委員県外研修	広島県
9．1	自主防災ワークショップ～自助から共助へ　自分たちに出来ること～	高松市
10.28	平成２７年度公開講座「すこやかな老いをめざして～認知症とその予防」	丸亀市
28．2.17	丸亀市福祉ママ県外研修	愛媛県
3.16～17	丸亀市連合自治会長・コミュニティ会長研修会	鳥取県

〔基礎研修（介護外部研修)〕

年月日	研　修　内　容	場　所
27. 4.17	平成２７年度社協職員基礎研修	高松市
4.27	丸亀安全運転管理者協議会通常総会	丸亀市
6. 2	平成２７年度産業保健研修会	高松市
6. 8	平成２７年度全国安全週間周知会	坂出市
6. 9	介護職員処遇改善加算平成26年度実績報告説明会	高松市
6.10	雇用管理責任者講習 （全6回：6/10のみ宇多津町、7/17、8/20、10/16、11/4、12/18）	宇多津町 高松市
6.12	介護事業経営戦略セミナー	高松市
7.11 7.12	平成２７年度地域福祉（コミュニティーソーシャルワーク） 実践者養成研修	高松市
9.15	平成２７年度安全運転管理者講習会	丸亀市
9.15	平成２７年度全国労働衛生週間説明会	坂出市
9.29	平成２７年度災害時要配慮者支援セミナー	丸亀市
9.29	平成２７年度県内社協中堅職員研修	高松市
10.21	善通寺市社協職員研修会（認知症見守りネット）	善通寺市
10.22	キャリアアップセミナー	丸亀市
10.26	人権課題別講習会	丸亀市
10.28	平成２７年度公開講座（丸亀病院長）	丸亀市
11.14 11.15	平成２７年度地域福祉（コミュニティソーシャルワーク） 実践者スキルアップ研修	高松市
11.18 11.19	平成２７年度第２回職業能力開発推進者講習	高松市
11.18	人事労務管理セミナー	高松市
12. 1	平成２７年度集団指導（障害福祉サービス）	高松市
12.16	ストレスチェック研修	高松市
28. 1.15	障がい者の雇用創造に取り組む企業経営者による働き方講演会	丸亀市
2.17	施設管理者向け事例から学ぶ管理者の事故対応	高松市
2.17	平成２７年度福祉サービス苦情解決事業研修会	高松市
3.14	平成２７年度集団指導（訪問介護・通所介護）	高松市
3.16	平成２７年度集団指導（居宅介護支援）	高松市

〔専門研修（介護外部研修)〕

年月日	研　修　内　容	場　所
27.4.11	介護職員初任者研修（通信） （全16回：4/11、4/12、4/18、4/25、5/2、5/16、5/17、5/23、 5/24、5/30、6/6、6/13、6/20、6/27、6/28）	坂出市
4.16	高齢者虐待防止研修会	丸亀市
4.24	丸亀市支援体制検討連絡会	丸亀市
5.15	平成２７年度「短期専門コース」講習会	高松市
5.20	高齢者虐待防止等実務者会議	丸亀市

年月日	研　修　内　容	場　所
5.26 6.11	認定看護師による専門領域研修会公開講座	丸亀市
5.31	平成２７年度香川県ホームヘルパー協議会総会並びに研修会	高松市
6．4 6.11 6.13	平成２７年度同行援護従事者養成研修（一般課程）	高松市
6.18	平成２７年度レクレーショナル・アクティビティ研修会	高松市
7．8	対人援助研修会	高松市
8．3	平成２７年度香川県認知症介護実践研修	高松市
8.15 8.29	平成２７年度同行援護従事者養成研修（応用課程）	高松市
8.28	第２１回地域福祉実践研究セミナーｉｎ香川中讃	丸亀市
9．8	ファシリテーター研修会	高松市
9．9	介護支援専門員演習指導	高松市
9．9	失禁ケアのアセスメント・看護実践（香川労災病院）	丸亀市
9.17	地域包括ケアシステム構築に向けた推進セミナー	高松市
10.13	相談員のためのスキルアップ研修	高松市
10.13 11.20	難病患者支援従事者研修会	丸亀市
10.16	丸亀市地域包括ケアシステム講演会	丸亀市
10.18	平成２７年度スキルアップ研修会（第３回）	丸亀市
10.18	かがわ医療・介護連携推進シンポジウム	高松市
11．5	認知症ケアに関する多職種連携のための研修会	丸亀市
11.20 11.25	平成２７年度介護支援専門員実務従事者基礎研修会指導	高松市
12．5	第１回介護支援専門員等口腔ケア研修会	高松市
12.13	平成２７年度スキルアップ研修会（認知症の方を支える）	高松市
12.15	平成２７年度介護支援専門員実務研修指導者打合せ会	高松市
12.18	主任介護支援専門員フォローアップ研修会	高松市
28．1.22	丸亀市支援体制検討連絡会	丸亀市
1.28	医療・介護連携クラウドシステム導入に係る関係機関説明会	丸亀市
1.28	発達障害を持つ当事者・家族への学習会	高松市
2．3	丸亀市介護サービス事業者連絡会設置検討会	丸亀市
2.14	平成２７年度介護支援専門員実務研修指導者	高松市
2.14	訪問介護サービス提供責任者研修セミナー	岡山市
2.17	平成２７年度第２回居宅介護事業所連絡会	善通寺市
2.18	医療・介護連携クラウドシステム導入に係る関係機関説明会	丸亀市
2.25	指定特定（障害児）相談支援事業所開設のための研修会	宇多津町
2.27	障害者雇用や福祉サービス等の社会資源について	高松市
3．7	中讃地域の主任介護支援専門員連絡勉強会	丸亀市
3.16	高齢者虐待防止等実務者会議	丸亀市

〔基礎研修（介護内部研修)〕

年月日	研　修　内　容	場　所
27．4.24	個人情報保護について	飯山分室
6.19	介護用品について	飯山分室
7.17	マナー、接遇、コミュニケーション	飯山分室
10．8	心とからだの健康について	飯山分室
11.20	感染症予防について	飯山分室
12.18	介護福祉士による介護実技講習会	飯山分室
28．1.22	認知症サポーター養成講座	飯山分室

〔専門研修(保育所)〕

年月日	研　修　内　容	場　所
27．4.11	平成２７年度丸亀市保育所職員研修会	丸亀市
4.23	平成２７年度総会及び第1回所長研修会	高松市
5．9	音楽あそび講習会	丸亀市
5.20～22	平成２７年度保育所新任保育士研修会	高松市
5.21	しおや保育所職員研修　小柳先生	丸亀市
5.22	丸亀市人権・同和教育研究協議会	丸亀市
5.29	第1回保育士研修会	高松市
6.30	平成２７年度食育推進研修会	高松市
7．9～10	平成２７年度四国ブロック保育研究大会	丸亀市
7.15～16	防火管理講習	丸亀市
7.23	平成２７年度保育所所長研修	高松市
7.24	中讃地域特別支援教育公開講座	善通寺市
7.27	平成２７年度就学に関わる教育相談・支援体制構築に関する協議会	高松市
7.29	平成２７年度幼児期の体力向上指導者研修会	高松市
8．5	平成２７年度第２回保育士研修会	高松市
8．6	同和問題週間講演会	丸亀市
8．6～ 7	サマースクール京都大会	京都府
8．8	第１０回人権保育夏季研修会	丸亀市
8.17	平成２７年度幼稚園教育香川県研究協議会	高松市
8.17～18	サマースクール大阪大会	大阪府
8.27	しおや保育所職員研修　小柳先生	丸亀市
8.27	第２１回地域福祉実践研究セミナーin香川・中讃（１日目）	丸亀市
8.28	第２１回地域福祉実践研究セミナーin香川・中讃（２日目）	丸亀市
8.31	出前講座　危機管理	丸亀市
9．5	幼稚園・保育所合同研修会	丸亀市
9．8	平成２７年度香川県保育協議会第２回所長研修会	高松市
9.15	平成２７年度第３回香川県保育所等臨時雇用保育士研修会	丸亀市
9.17	母子保健指導者研修会	高松市
9.18	平成２７年度保育所主任（中堅）保育士研修会①	高松市
9.25	しおや保育所職員研修　喜岡先生	丸亀市

年月日	研　修　内　容	場　所
10．6	平成２７年度香川県保育所等児童虐待対応研修会	高松市
10.21～22	全国保育士会研究大会	東京都
10.22	しおや保育所職員研修　笠井先生	丸亀市
10.24～25	第３２回香川県就学前人権教育研究集会	丸亀市
10.26	人権課題別講演会	丸亀市
10.29	平成２７年度香川県保育所等障害児保育担当保育士研修会①	丸亀市
11．2	平成２７年度香川県保育所等障害児保育担当保育士研修会②	高松市
11.11	平成２７年度丸亀市幼・小・保連絡研究協議会	丸亀市
11.12	地域部会福祉部会合同『にいちゃんのハナビ』	丸亀市
11.13	児童虐待防止講演会	高松市
11.17	平成２７年度保育所主任（中堅）保育士研修会②	高松市
11.18～19	キャリア形成支援で活き活き職場づくり	高松市
11.25	平成２７年度第３回保育士研修会	高松市
12.17	人権研修（高齢者疑似体験）	丸亀市
12.22	平成２７年度香川県保育所等健康安全研修会	高松市
28．1.16	第３５回市民のつどい人権講演会	丸亀市
1.26	平成２７年度第４回保育士研修会	丸亀市
2．4～ 5	平成２７年度初等教育研究発表会	高松市
2．5	保育所経営セミナー	大阪府

（3）財政基盤の立て直しと健全な法人経営

指定管理事業をはじめとする収益事業の展開や共同募金等民間財源の有効活用を図る一方で、人件費に対する補助金や委託金等の公的財源は、その経営を維持するために必要不可欠です。しかしながら、行政改革が進められる中、人件費補助や受託金に対するマイナスシーリングにより、安定水準の公的支援はますます厳しく、特に介護事業においては、赤字補てん策として、積立金を取り崩す状況が続いています。共同募金助成金の減収や会費、寄付金収入が硬直化する中、この傾向は、今後も続くものと思われ、現行業務の継続性の要否を検討することなども含めて一部業務を見直しました。

保育所事業では、人件費シミュレーション等を行った収支結果から、土曜終日保育の見直しに着手しましたが、依然、保育士不足から適正な人員配置が行えず、職員の処遇改善は喫緊の課題となりました。

地域福祉推進事業では、新規に「丸亀市子育て応援育児用品貸出事業」を受託することで、子育て支援における新たな財源を確保することができました。

今後、「丸亀市第２次地域福祉計画・地域福祉活動計画（みんなのふくし丸亀プラン）」の実践をとおして、行政との協働体制の構築に努め、住民から理解、共感、支持を得られる事業展開を進めてまいります。

財政基盤の立て直しには、地域福祉活動の実績を積み上げ、補助金、会費、共同募金の理解、協力につながるようホームページや広報紙等を活用するなど、本会事業の積極的なＰＲに取り組み、収入の安定確保を図ることが重要です。

地域福祉推進の中核組織であることの責任や果たす役割の重要性を役職員一同が自覚し、健全な法人運営を図り、住民の期待に応えられるよう一層努力してまいります。

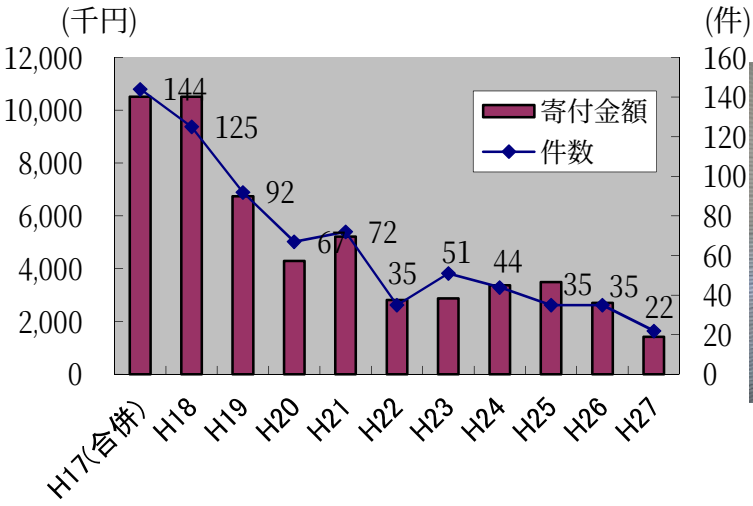
①寄付金収入状況

（単位：項目　上段／件・下段／円）

項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
香典返し寄付金	51	44	35	35	22
	2,870,000	3,375,000	3,500,000	2,700,000	1,420,000
一般寄付金	18	20	22	32	29
	1,594,964	1,795,686	2,906,374	1,830,214	3,404,786
合 計	4,464,964	5,170,686	6,406,374	4,530,214	4,824,786

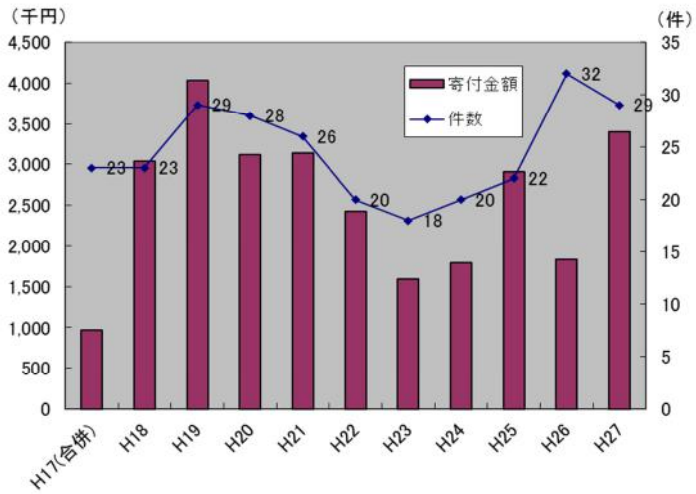
物品寄付	18	18	43	112	163
	649,080	2,878,700	1,198,361	270,765	346,385

香典返し寄付金



学校法人高松高等予備校
村上学園高等学校様

一般寄付金



第一生命労働組合様

②会費収入状況

（単位：会員区分 上段／件・下段／円）

会員区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
一般会員	24,925	24,411	24,250	23,943	24,185
(世帯)	2,492,500	2,441,100	2,425,000	2,394,300	2,418,500
賛助会員	263	261	251	247	250
（名）	486,000	485,000	468,000	461,000	473,000
団体会員	184	257	286	263	270
（団体）	914,000	1,380,000	1,552,000	1,439,000	1,475,000
合　計	3,892,500	4,306,100	4,445,000	4,294,300	4,366,500

③共同募金助成金状況（地域福祉推進費）

本年度は、共同募金助成として、社協広報活動事業や災害時備品整備事業など６事業に助成を受けました。また、歳末たすけあい募金助成では、民生委員児童員、コミュニティ会長にご協力をいただき生活困窮世帯への見舞金、１７地区コミュニティの福祉活動への助成、養護学校等の子どもたちへのお年玉など、地域で支援を必要とする方へ役立てられました。

今後も貴重な善意の民間財源としての共同募金を効果的に活用し、丸亀市の地域福祉活動を充実させるための事業展開に努めます。

<社会福祉協議会助成額>

（単位:円）

内　容	25 年度決算額	26 年度決算額	27 年度決算額
共同募金助成（地域福祉推進事業）	7,132,941	8,612,113	8,414,673
歳末たすけあい募金助成	4,141,000	5,761,625	5,676,450
合　計	11,273,941	14,373,738	14,091,123

④積立資産と繰越金の状況

本年度の積立金については、取崩額が６５,０１３,０００円、積立額が５８,７３８,６３６円となり、取崩額が積立額より大きいため、積立金全体で６,２７４,３６４円の減少となりました。

なお、本年度の積立額については、２３年度に福祉のまちづくり積立資産を取り崩し、保育所開設準備の運転資金として保育所事業へ貸付していた貸付金１１，０００，０００円の返済を受け、それらを積立てしたことにより、例年と比べ積立額が多くなりました。

積立金については、今後さらに減少が進むと予測し、特に介護事業では赤字経営が続いており、今後も介護事業安定積立資産が減少し続けることから、内部プロジェクトチーム「介護事業あり方検討委員会」を立ち上げ、課題を整理し、事業のあり方について検討を行う予定です。

また、福祉のまちづくり積立資産では、限られた財源の中、地域や住民ニーズに沿った地域福祉活動を展開するため、事業の可視化を推進するとともに積立金の有効活用を図ります。

<積立資産>　　（単位:円）

積立金の名称	25 年度決算額	26 年度決算額	27 年度決算額
財政調整積立資産	60,000,000	60,000,000	60,000,000
福祉のまちづくり積立資産	294,352,309	286,544,877	284,770,513
災害被災者及び復旧支援積立資金	30,000,000	30,000,000	30,000,000
固定資産等取得及び修繕積立資産	60,000,000	60,000,000	60,000,000
介護事業安定積立資産	186,153,427	253,500,256	241,000,256
保育所人件費積立資産	0	0	0
保育所施設・設備整備積立資産	0	5,000,000	13,000,000
合　計	630,505,736	695,045,133	688,770,769

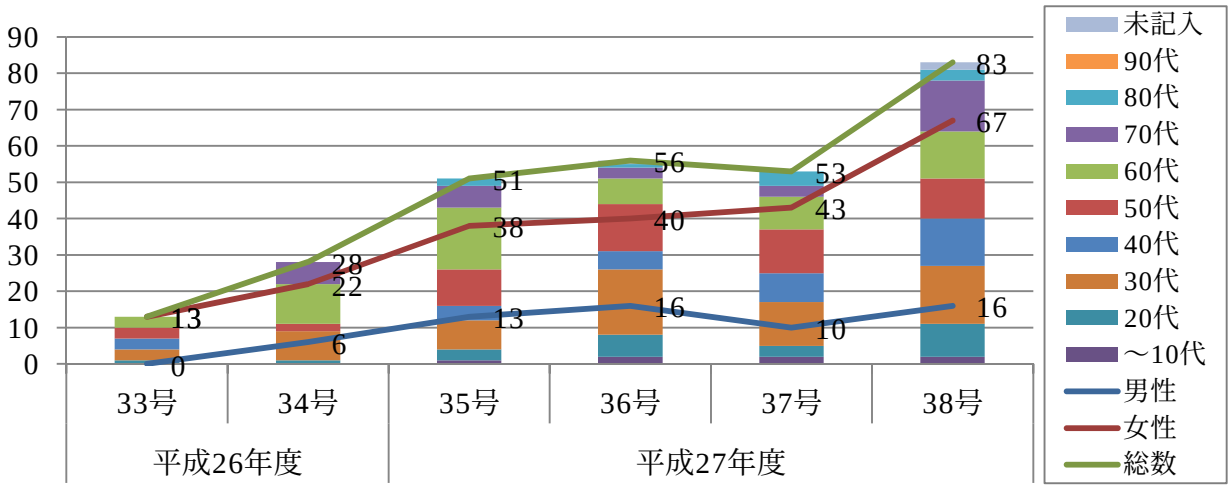
重点項目 （４）社協らしい広報戦略の展開

①伝わる広報誌づくり

月１回開催する広報編集会議では、住民ニーズを把握するため、読者アンケートコーナーをスタートし、その福祉ニーズからテーマを絞った「特集記事」を企画する等、常に住民目線を意識した新たな広報誌の方向性を検討しました。単に行事やイベントの告知、事業完了の広報ではなく、事業開始から継続的な広報に努め、担当課だけでなく組織の中で横断的に連携を図る戦略的な広報活動を実施しました。

住民との協働によるまちづくりを進める第一歩は、情報の共有です。社協がどのようなまちづくりを目指しているのか、多くの住民に届くよう「伝わる広報誌づくり」にチャレンジしました。

《ご意見投稿者　性別・年代別グラフ》



当初は６０代以上の読者が半数を占めていましたが、３４号より「おやつ日和」コーナーを新設し、３７号ではファミリー・サポート・センターの特集、３８号では育児用品貸し出しのお知らせを掲載し、子育て世代向けの情報を掲載するようになったため、徐々に子育て世代の票が伸びてきました。号数を重ねるごとに、各年代からまんべんなく意見が投稿されています。

３８号特集「わが家の防災対策」のように各年代ニーズの高い内容の時は、特に投稿数が伸びる結果となりました。

《意見を反映した誌面づくり》

投稿された意見を反映し、常に読者のニーズに合わせた誌面づくりを行っています。

投稿された要望	要望を元に掲載した記事
ファミサポについて詳しく教えて欲しい。どれぐらい需要があるのか、利用している人はどのようなスタイルで預けているのか、毎日なのか、時間はどれぐらいなのか…(26歳・女性)	37号特集 「子育てしながら上手に働く」(ファミリー・サポート・センター特集)
まかせて会員についてもっと詳しく書いて欲しい(36歳・女性)	
高齢者の筋力低下予防体操など、家でできる体操を１つでもよいので掲載があると嬉しい。(26歳・女性)	39号(平成28年5月発行) 「オルデのお部屋」 (筋力アップ体操の紹介)

②社協キャラクター「オルデ」の有効活用

社協の活動や福祉に対する住民の関心度を高めるため､昨年度誕生した社協キャラクター｢オルデ」を積極的に活用しました。

オルデをデザインしたポロシャツとウインドブレーカーを職員のユニフォームとして積極的に着用したほか、等身大パネルの設置やクリアファイルの配布、チラシや研修会の資料、センターの掲示物等でのイラスト利用などを通して、オルデ＝社協というイメージの定着を図りました。

また、社協広報誌『かけはし』や事務局通信では、注目してほしいメッセージを伝える「ナビゲーター」としての役割に加え、福祉のまちづくりへの共感や参加を促す「ソーシャルコミュニケーター」としても有効に活用することで、読み手に伝わりやすく、親しみやすい広報誌づくりにつなげました。

職員用ポロシャツ・ウインドブレーカー

オルデの等身大パネル

クリアファイル

広報誌『かけはし』38号の特集記事